

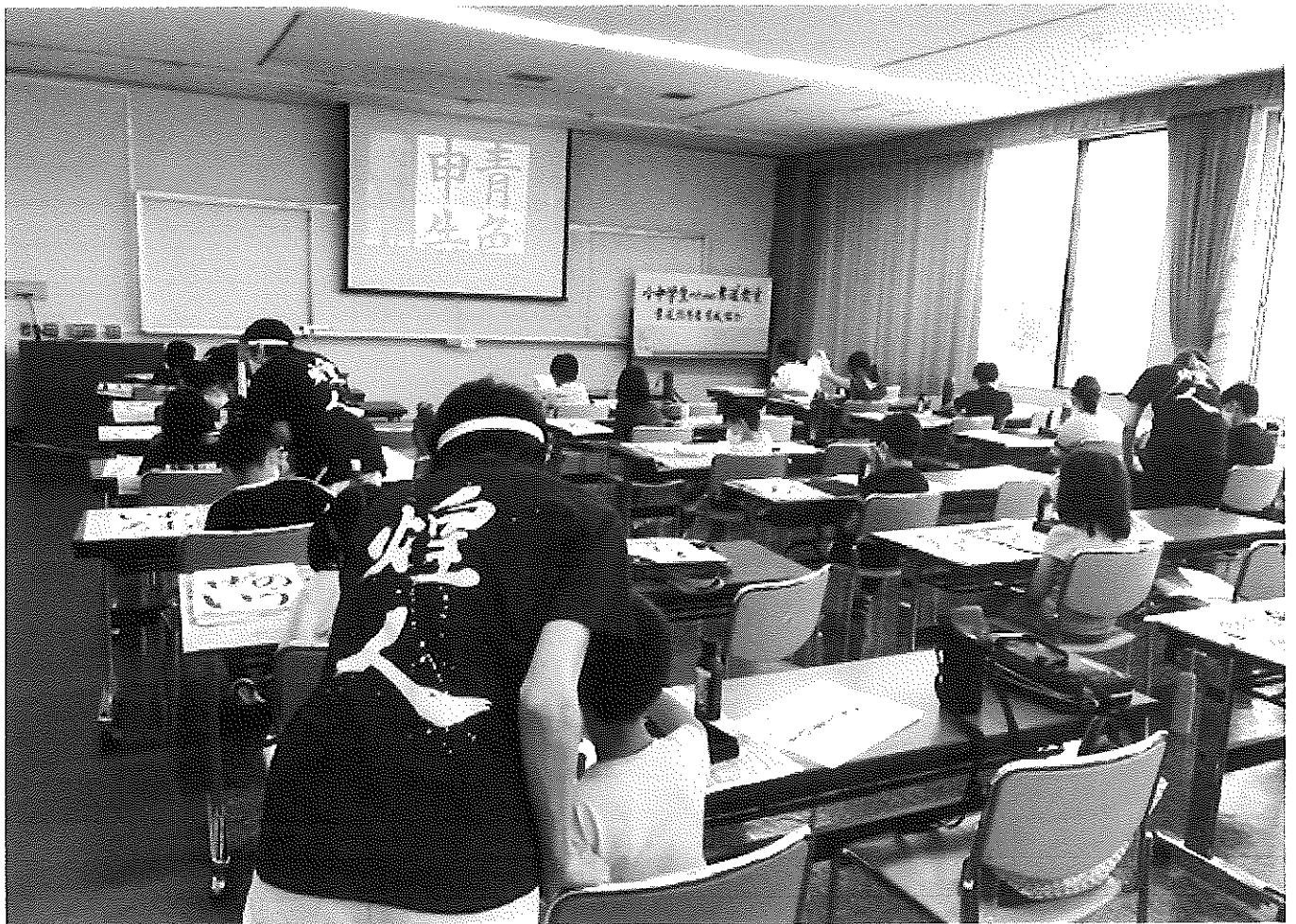
様式第 11 号 (第 13 条関係)

小田原市市民活動応援補助金事業成果報告書

事業名	書道指導者育成による書道の普及事業 社会貢献事業
団体名	書道指導者育成協会
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 小中学生のための書道教室(夏休み 99 名参加・冬休み 26 名参加) ② 小学校でのスクールボランティア活動(小学校 3 年生以上全員に指導) 及び教員への指導 ③ 書道に関する講演会「人生を変える美文字のススメ」(オンライン講演会 36 名参加) ④ 小田原市イベント参加 市民交流センター UMECO 多目的コーナーで活動内容や作品を展示
事業の成果	<p>コロナ感染症で休校だった子ども達の書写書道実技教育の助けとなる活動を行った。</p> <p>講演会の開催により、子ども、保護者、教員に向けて、新学習指導要領の内容や、実践方法について共に学ぶことができた。</p> <p>活動展示、作品展示により、市民に向けて、書道の楽しさを伝えることができた。</p>
今後の事業展開	<p>新しい学習指導要領の内容を踏まえて、実践できる形を模索し、学校現場や、広く子ども達に伝え続ける活動を展開していく。</p>

活動の様子又は成果がわかる写真

活動の様子又は成果がわかる写真



様式第12号 (第13条関係)

小田原市市民活動応援補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位：円)

科目	金額	内訳 (数量・単価など)・備考
1, 受講料収入	62,500	
書道教室		500×99=49,500
書初め教室		500×26=13,000
2, 補助金	200,000	
3, 本会計から	62,081	
収入合計	324,581	

2 支出の部

(単位：円)

科目	金額	内訳 (数量・単価など)・備考
1, 小中学生向け 書道教室	95,519	会場借上料 26,100 消耗品 30,827 チラシ作成・郵送料 38,592
2, 小中学校書写 教育支援	15,000	消耗品 15,000
3, 書道に関する 講演会、ワークシ ョップ開催	207,062	会場借上料 3,420 講師謝礼金 100,000 チラシ作製費 4,152 教材費 29,090 書画カメラ購入費 70,400
4, 小田原市他イ ベント参加事業	7,000	教材費 7,000
支出合計	324,581	

小中学生のための 書道教室 in けやき

日 時: 令和2年8月10日(月・祝)
午前10時～12時・午後1時半～3時半
場 所: 小田原市生涯学習センターけやき
教 材 費: 500円
対象学年: 小学1年生～中学3年生
定 員: 午前・午後、各50人 (申し込み多数の場合抽選)
持 ち 物: 書道道具、墨汁、半紙、新聞紙
(道具をお持ちでない場合は当日購入できます。)

感染症対策として今回は定員を減らします。
指導者はマスク、フェイスシールドを着用します。

申込締切: 令和2年7月25日(月)
申 込 先: 下のアドレスをそのまま打ち込んでいただくか、
QRコードから申し込みフォームへ進んでください。



書道教室予約フォーム

<https://ws.formzu.net/dist/S62501567/>



講師: 堤 千恵子
・日展入選
・毎日書道会会員
・高等学校講師



問い合わせ先
書道指導者育成協会
事務局 090-6189-2390

後援 小田原市教育委員会
令和2年度小田原市市民活動応援補助金交付事業

キャンパスおだわら学習講座《公募型市民企画講座》

小中学生のための

書き初め教室 in マロニエ

日時：令和2年12月20日(日) 午後1時半～ 3時半

場所：川東タウンセンターマロニエ 202他

参加費：500円(教材費)

対象学年：小学3年生から中学3年生

定員：抽選により30名

持ち物：書き初め用 (下敷き・筆・用紙)、墨池

墨液、文鎮、新聞紙、書写の教科書

(当日足りないものを購入もできます)

申込期間：令和2年11月1日(日)～令和2年12月6日(日)

事務局：お問い合わせはこちらへ 090-6189-2390 堤



指導：堤 千恵子
・日展入選
・毎日書道会会員
・高等学校講師



教室申込フォームはこちらから
<https://ws.formzu.net/dist/S33467690/>

書道指導に関心のある方も見学大歓迎です！

令和2年度小田原市市民活動応援補助金交付事業



書道指導者育成協会

人生を変える 美文字のススメ！

お待たせしました
第三弾！

美文字王子 青山浩之 先生の講演会とワークショップ
みんなでペン字、えんぴつ文字の達人になろう！

青山浩之先生プロフィール

1968年生まれ

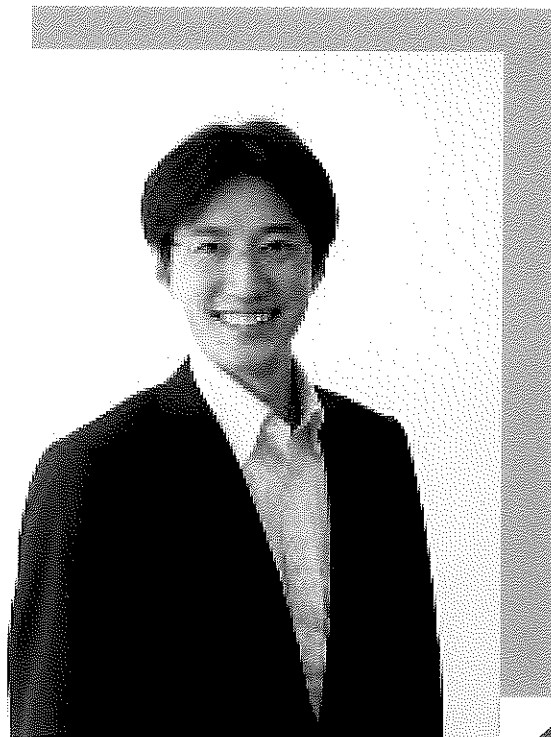
東京学芸大学大学院 教育学研究科 美術教育専攻書道講座修了

横浜国立大学 教育学部教授(現在)

研究内容 書写書道教育に関する研究、手書き文字に関する研究など

著書：

"きれいな字"の絶対ルール(日経BP)、小学生のためのきれいな字になるワーク(旺文社)、クセ字が直る美文字レッスン帳(NHK出版)、基本が身につく書道の教科書(池田書店)、大和言葉を美しく書くペン字練習帳(主婦の友社)、DVD付き大人の美文字が書ける本(講談社)、他



令和3年2月21日(日) 10:00~12:00

おだわら市民交流センターUMECO

参加費：500円 定員：抽選により50名

持ち物：筆記用具

申し込み方法はこちらから



予約フォーム

<https://ws.formzu.net/dist/S33302841/>



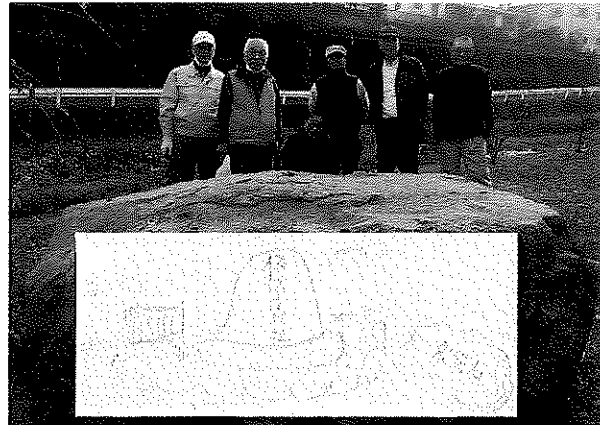
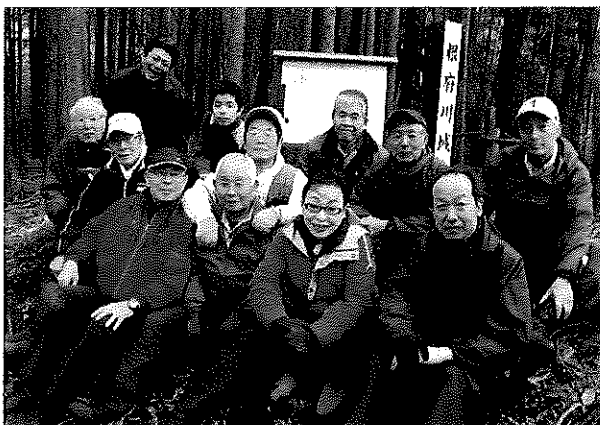
書道指導者育成協会

詳しくは下記の事務局まで
事務局 090-6189-2390 堀

様式第11号（第13条関係）

小田原市市民活動応援補助金事業成果報告書

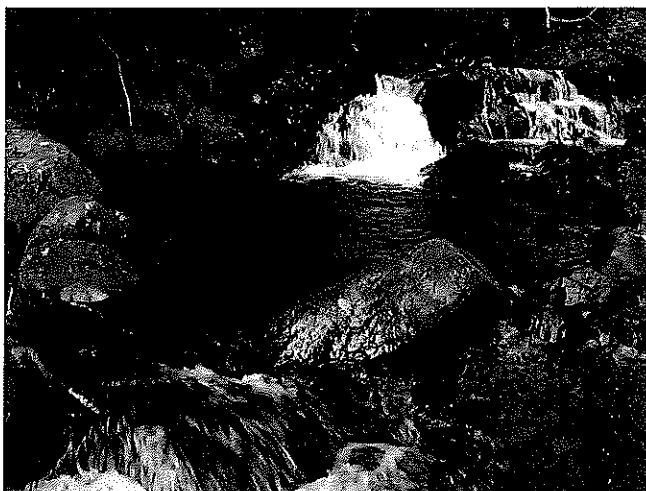
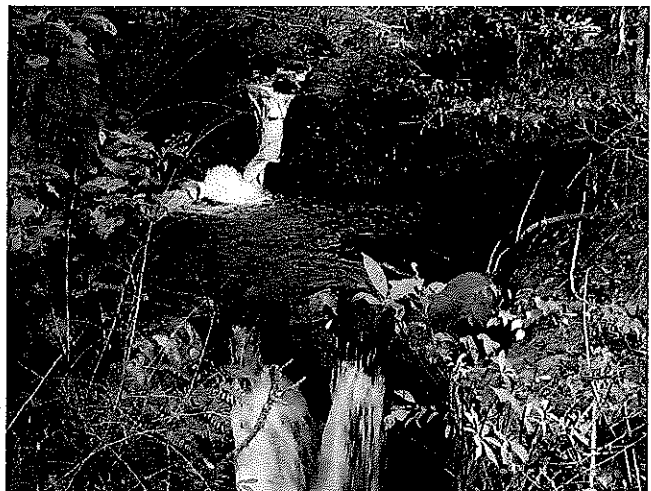
事業名	根府川城址を保全する活動及び白糸川滝群の整備事業
団体名	ねぶ川、里山を守る会
事業の内容	<p>根府川の自然・歴史・文化を維持継承し、市内外問わず多くの方が区内を周遊し楽しめる環境をつくり、市民の健康増進及び観光の振興を図るために、以下の4事業を継続的に行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 根府川関所跡石碑の建立、維持管理 2) 白糸川上流の溪流・滝群への経路の整備 3) 根府川城址の保全整備 4) 大洞(関東大震災時に山体崩壊した山)付近の経路の整備
事業の成果	<p>白糸川上流の溪流・滝群の保全活動と併せ、星槎国際学園との共同企画を含む2回の団体ツアー並びに数回の見学会を開催し、市民間交流、地域団体との交流の場を提供できた。また、白糸川下流にある関東大震災時の流れ落ちた通称「震災石」に文字を刻印し、観光振興に寄与した。(大洞事業との共同事業)</p> <p>根府川城址案内板設置に関する検討会を数回行い、詳細な案内図の作成、設置版の作成、会員による設置作業を行った。これにより小田原市の歴史的遺産である「根府川地区城郭遺構群」を市内外に広く、広報することができた。</p> <p>根府川関所跡の石碑建立に向け、石碑及び台座用の石の調査、箱根関所の視察調査及び検討会、設置場所の検討及び設置許可の申請、石碑の題字の依頼、題字のデータ作成及び台座の設置を行った。</p>
今後の事業展開	<p>既存の4つの事業を継続的に行い、維持管理を行うとともに、安全性を確保するための整備を行っていく。</p> <p>根府川関所跡の石碑建立を行い、維持管理を行っていく、関東大震災時に山体崩壊した大洞付近の整備について、更なる調査を行い、関連する組織とも連携し具体的な整備計画を策定していく。</p> <p>引き続き、市民の健康増進及び市の観光振興を図っていきたい。</p>





白糸川溪流事業 星槎国際高等学校の生徒および先生・地域有志と滝郡の散策会

2020.10.26 40名参加





ヒノキ林の中を溪流に沿って歩く



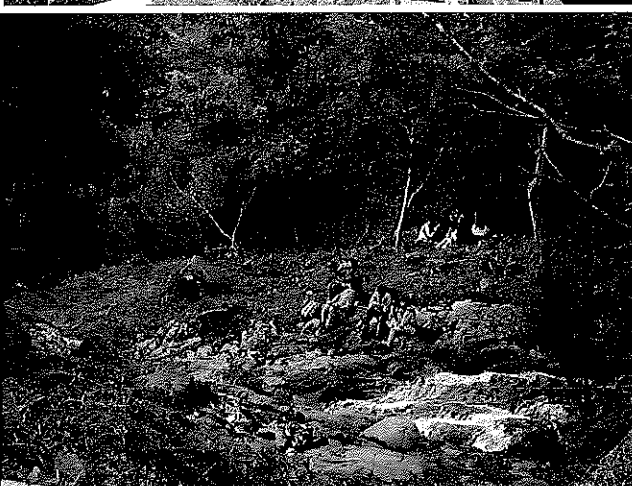
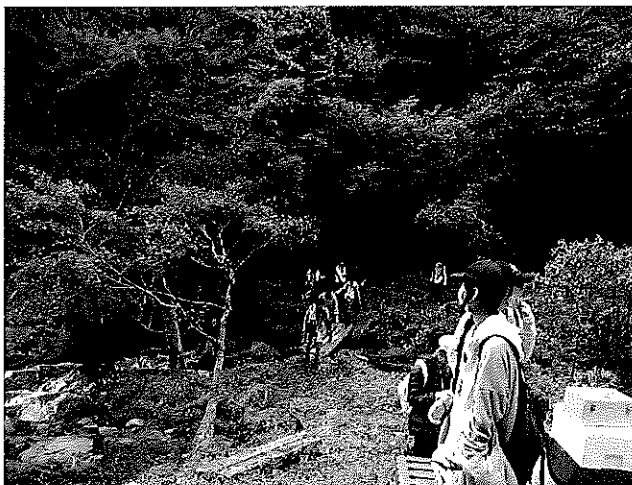
かつての「炭焼き」の跡



かつての「炭焼き」の跡



溪流広場で一休み



みんなで記念写真

様式第12号（第13条関係）

小田原市市民活動応援補助金事業収支決算書

1 収入の部 (単位：円)

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
事業参加費	11,500	@500×23名
寄付金	113,430	支援者、役員拠出金
補助金	200,000	小田原市より
収入合計	324,930	

2 支出の部 (単位：円)

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
根府川城址事業		
パネル作成費	122,100	案内パネル製作一式
保険料	1,000	設置作業保険料
燃料費	9,260	草刈り・チェーンソー燃料代
土地調査費	4,050	地権者の調査費
白糸川溪流事業		
重機レンタル料	20,000	ユニック重機のレンタル料
保険料	1,000	見学会・作業の保険料
刻字作業費	30,000	震災石の刻字作業費
関所跡石碑事業		
視察費	320	箱根関所視察・研修費（駐車場代）
石碑文字作成費	6,600	関所跡石碑文字制作費
設置費	100,000	台座設置作業費
会議室使用料	30,000	勉強会・検討会会場費として
事務費	600	資料のコピー代
支出合計	324,930	



爪痕伝える震災石

地元有志が石彫施し、名刻む

【文化】

1923年（大正12年）の関東大震災による山津波に襲われた小田原市根府川。当時の惨状を後世に伝えようと、ねぶ川里山を守る会（廣井隆史会長）がこのほど、土砂として流れ着き、今なお現存する巨石を「震災石」と命名した。



震災石と(左から)内田さん、廣井さん、田中さん

石は根府川関所跡に古くからあるもので、横幅は約2m。同会では、地元に住む書家・廣井則江さん(64)と彫刻家の田中康二郎さん(66)の協力を得て、石に直接その名を彫り込んだ。

郷土史読み解き後世に伝える

同会の内田昭光さん(78)の父・一正さんは生前、郷土史を調べ一冊の本にまとめていた。一正さんが10歳の時に被災した関東大震災と山津波の被害状況についても記されている。本によれば震災発生時、白糸川上流の大洞山が崩壊。大量の土砂が流れこみ、4Kmを5分という速さで滑り下りながら周辺の家屋を飲み込んでいったという。

父から惨状を伝え聞いてきた内田さんは、全国の土砂災害を研究する井上公夫氏を招き、巨石が山津波由来のものとして調査を進めてきた。石彫について「災害が多発するなか地域の特性を今一度知り、後世に伝えていければ」と意義を語る。

製作に携わった2人はともに石の由来までは知らなかったと声を揃える。「力強さを出せば」と話す廣井さんが書いた字を、田中さんが2週間ほどかけて彫り上げた。散歩がてら手でなぞる近隣住民の姿も見られ、「石が命を吹き込まれ、元気になったようだ」(田中さん)。廣井さんは「遠い昔になってしまった震災を忘れないよう、たくさんの人に見てもらえたら」と話した。

根府川城址を今に遺す 有志団体が案内板を設置



案内板を設置したねぶ川里山を守る会のメンバー

戦国時代、後北条氏により築城されたとされる根府川城。急峻な地形と延々と続く土塁からなる遺構群は、今なおその跡を見ることができる。こうした根府川地区城郭遺構群を遺していこうと、地元の有志団体「ねぶ川里山を守る会（廣井隆史会長）」が11月29日、根府川城址の看板とあらましを記した案内板を設置した。

30年程前、郷土史研究をライフワークとしていた内田一正さんは、山口隆さん（小田原城郭研究会）らと共同し、現地検証を重ねていたという。一正さんの死後、長い間眠ったままだった城址の全体図に光を当てようと、息子である内田昭光さんら守る会メンバーで再び現地へ赴き、案内板を完成させた。

「長年の宿題を一つ形にできた」と安堵の表情をみせた昭光さん。同会では「今後も根府川の歴史の一つとして整備を続けていきたい」と話している。

様式第 11 号 (第 13 条関係)

小田原市市民活動応援補助金事業成果報告書

事業名	小田原子育て情報サイトのママ編集部立ち上げ事業
団体名	小田原子育て支援ポータルサイト「びんたっこ」運営協議会
事業の内容	<p>現在子育て中の母親にびんたっこ情報サイトでの取材及び更新の作成を依頼し、子育ての悩みを解決するための【学び】に特化した、母親目線の情報を記事にして掲載した。</p> <p>※これまで発信してきたイベント等の情報は SNS 等で入手可能であることから見直しを図り【学び】をコンセプトに子育て情報を発信した。</p>
事業の成果	<p>長期化するコロナ禍のため、打ち合わせや取材が非常に困難な状況だったが、意欲のあるママ記者と当協議会メンバーが連携し、Zoom ミーティングや地域で話題の施設やお店を取材し、これまで5つの記事をホームページに掲載した。</p> <p>令和2年4月～3月のホームページ閲覧者数(約18,000アクセス)のうち、約6割がこのページを閲覧しており、地域の子育て中の母親からも好評を得た。</p>
今後の事業展開	<p>○記事の反響が大きく、ママ記者たちのやる気と結束が深まっており、来年度も同じメンバーで活動をしてもらうことになっている。この1年間の活動を通して得たノウハウやママコミュニティーを生かして、来年度はより充実した活動をしてもらい、記事の掲載を増やすことでびんたっこサイトの内容充実を図りたい。</p>

様式第12号（第13条関係）

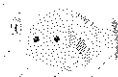
小田原市市民活動応援補助金事業収支決算書

1 収入の部 (単位：円)

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
市民活動応援補助金	100,000	
会予算より補填	16,095	
収入合計	116,095	

2 支出の部 (単位：円)

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
1、ママ記者編集謝礼金	69,840	ママ記者へ取材と編集代 34,920円×2人
2、講師代	0	コロナ禍のため企画を中止としました
3、消耗品費	7,400	ポスターパネルスタンド
	5,220	アルコール消毒液
	25,520	ホームページバージョンアップライセンス
4、印刷費	3,165	コピー用紙代 A4 10冊
	4,950	コピーインク代
支出合計	116,095円	



ぴんたっこ
Pintacco
小田原子育て情報サイト

[お問い合わせ](#) [ご意見・ご感想](#)

[ホーム](#) [「ぴんたっこ」とは?](#) [探す・調べる](#) [イベント情報](#) [mama's レポート](#) [おすすめ絵本](#) [ぴんたっこCAFE](#)

[ホーム](#) > [ぴんたっこCAFE](#)

子育てニュース (小田原市提供)

- ▶ [小児医療費助成制度を中学校卒業まで拡大](#)
- ▶ [男の子育て～イクメン情報～](#)
- ▶ [大人も子どもも プレイパークで遊ぼう!\(市民提案型協働事業\)](#)
- ▶ [子育てサークルの紹介](#)

----- 広告 -----

ぴんたっこCAFE

なかなかお出かけできませんよね

ここでは募集した記者さんの記事を掲載します!

- ▶ 03月02日 [図書館inミナカ](#)
- ▶ 03月02日 [テイクアウトでお気軽ランチ♪](#)
- ▶ 03月01日 [おだびよ支援センター](#)
- ▶ 07月22日 [親子で楽しい学びの時間を^^](#)
- ▶ 07月22日 [子どもと行こう パン屋さん!](#)



▶ [「ぴんたっこ」とは?](#) ▶ [ご意見・ご感想](#) ▶ [お問い合わせ](#) ▶ [プライバシーポリシー](#) ▶ [サイトマップ](#)



© ぴんたっこ, All Rights Reserved.

親子で楽しい学びの時間を^^

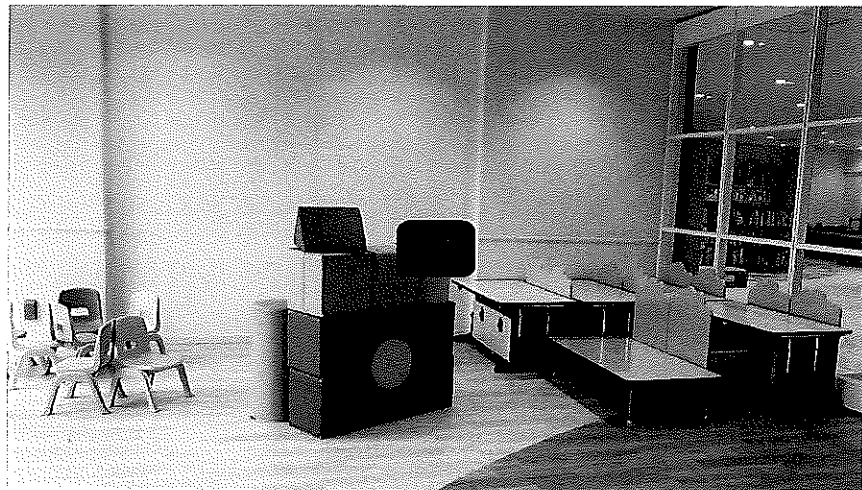
こんにちは！
ぴんたっこのママ記者の本間彩です^^

『親子で楽しい学びの時間を^^』

をコンセプトに
記事をアップしています^^
本日は
新しく出来た子育て支援センター
ぽおだびよ々をご紹介！

場所は小田原駅から
雨に濡れずに辿り着ける

「ミナカ小田原」の6階



明るく開放的な入り口で
3名のスタッフさんが優しく

お出迎えしていただきます(^^)

消毒と検温を
済ませて入室します。

感染症対策で
大人も子どもも
「靴下」必須になりますので
忘れないように
気を付けてくださいね(^^)

お部屋は床暖房になっていて
とってもあたたか
授乳室や子ども専用のトイレも
完備しているので安心です♪

大きなすべりだいや



ソフトブロックや
車のおもちゃなどで
遊ぶことができます♪



そして！
目玉ポイントがこちら！！



線路を眺めることのできる
素敵な出窓🌿🌿

電車好きにはたまらない
特別な場所になりますね♥

ぜひ、新しいおだびよに
足を運んでみてくださいね！

次回はおだびよ隣にある
新しい図書館をレポートします！
お楽しみに🌿

様式第11号（第13条関係）

小田原市市民活動応援補助金事業成果報告書

事業名	第12回鉄道資料展開催
団体名	小田原鉄道歴史研究会
事業の内容	<p>『第12回鉄道資料展』 令和2年10月10日（土）～11月4日（水） 於：おだわら市民交流センターUMECO 開業100年を迎える小田原駅をメインテーマとした 『小田原鉄道史』 かねてより調査・研究を進めてきた資料を2年がかりで編纂した 鉄道資料展会期中の11月1日（日）にお披露目式を行い一般 公開した 300部を印刷した 11月1日に予定していた“鉄道をテーマにした講演”は延期した</p>
事業の成果	<p>『第12回鉄道資料展』 会期25日間で約1,000人の入場者があった 老若男女を問わず、幅広い層から人気を得た 鉄道ファンの拡大につながった 小田原城天守閣再建60年、小田原市制80年とともにPRした “まちの発展に鉄道が果たす役割”を知ってもらうことができた 『小田原鉄道史』 小田原市ほか1市8町の図書館、小中学校に寄贈した 観光、文化、芸術団体などにも進呈した 当地鉄道の専門書であるとともに入門書でもある 交通事情や人々の暮らしぶりも窺える貴重な書物と評価された</p>
今後の事業展開	<p>引き続き“鉄道のまち小田原”を市民のみなさまにPRしていく 『第13回鉄道資料展』『模型運転会』『絵本朗読会』などを実施 “市民参加型”の催事を実施、鉄道ファンを拡大する 『鉄道名所をめぐるハイキングツアー』『鉄道小説の朗読会』など 他の市民活動団体と協力、協調し、“市民力”をより高めるべく、 団体のリーダー的役割を担っていく</p>

活動の様子又は成果がわかる写真

《別添のとおり》

活動の様子又は成果がわかる写真

《別添のとおり》

第12回鉄道資料展

小田原駅の魅力を満載 ～



おたわら市民交流センター・UMECO エコラニス UMECOEと同時



ギャラリーまで大盛況でした 25日間で約1,000人が来場

小田原鉄道史

A4サイズ 102ページ カラー印刷 300部印刷



11月1日(日)のお披露目式 会場 小田原市市民交流センター-IMECO

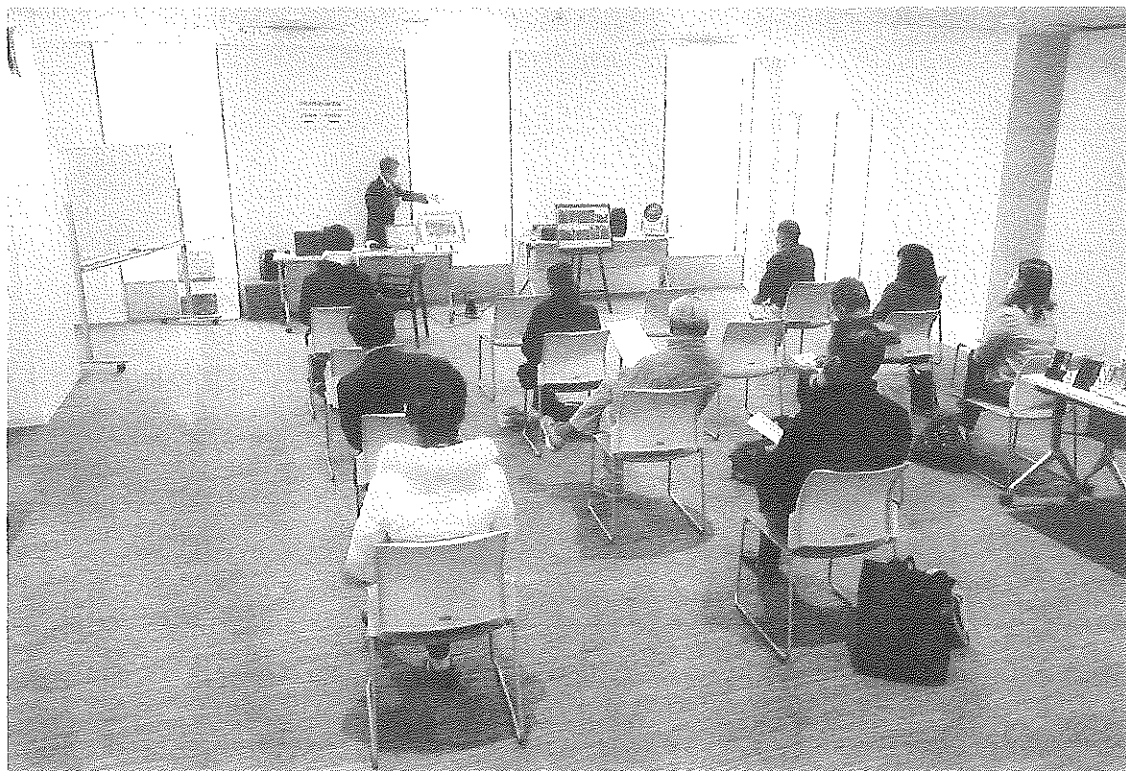


小田原市への寄贈式 12月2日(水)

ミナカ小田原 グランドオープン

小田原駅東口図書館 トークイベントに招待されました

令和2年12月4日(金)



“鉄道5社が築紹する小田原駅の魅力” 小室川時朗



“新幹線が生まれまち” 鈴木英生

様式第12号（第13条関係）

小田原市市民活動応援補助金事業収支決算書

1 収入の部

（単位：円）

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
1. 市民活動応援補助金	200,000	令和2年4月30日受領
2. 民間からの資金	100,000	さがみ信用金庫地域文化芸術振興基金
3. 研究会会費の一部	90,916	年会費 96,000 円 (@12,000 円×8人)
収入合計	390,916	

2 支出の部

（単位：円）

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
1. 会場使用料	61,270	UMECO 3回
2. 『小田原鉄道史』	201,700	300冊印刷
3. 印刷費	12,960	鉄道資料展ポスター（200枚）など
4. 消耗品費	25,639	主にプリンターインク代
5. 掲載費購入	720	行事を掲載した新聞（主に神静民報）
6. 通信費	24,066	“小田原鉄道史” や案内状の送付
7. 備品、事務用品費	29,631	展示用金具、クリアーホルダーなど
8. 画像使用料	34,930	沖野氏のイラスト
支出合計	390,916	

令和2年度 小田原市市民活動応援補助金対象事業

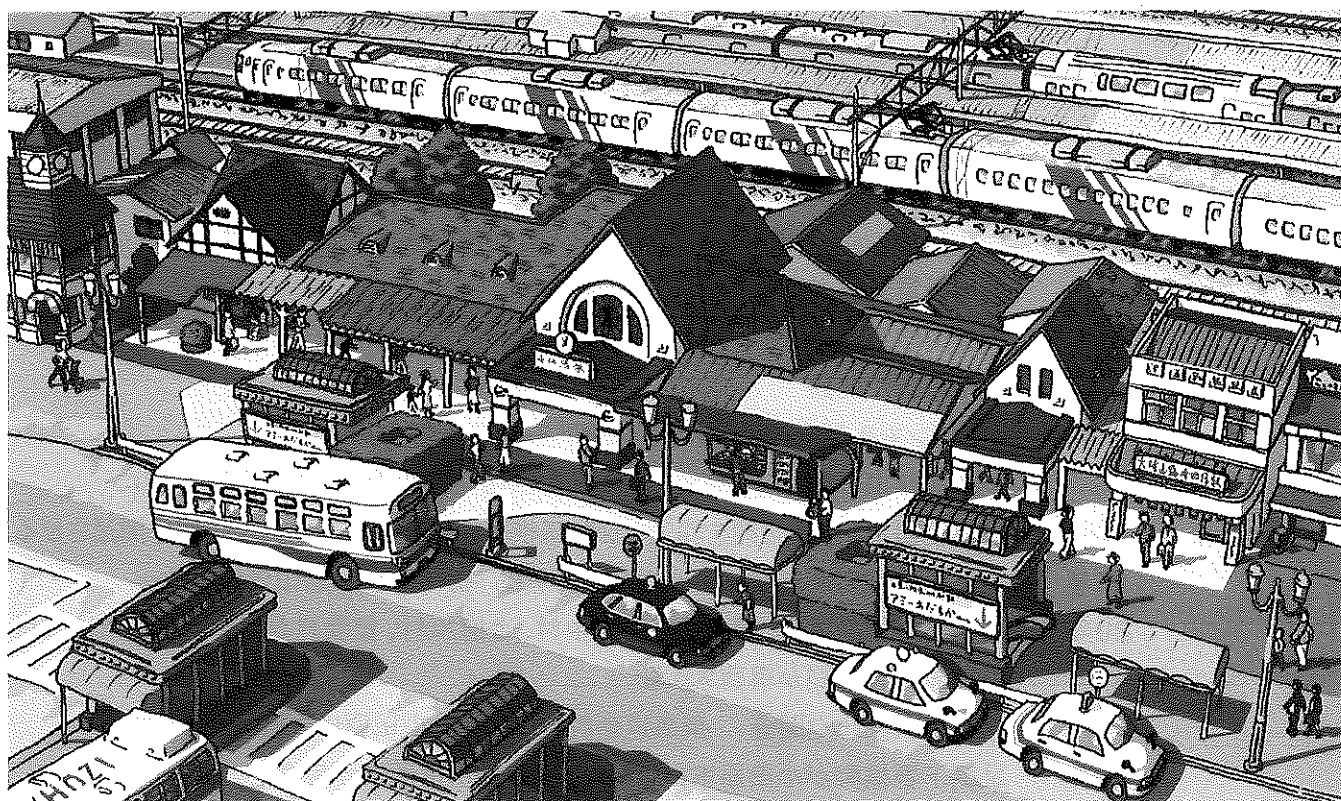
第12回鉄道資料展

開業100年を迎える小田原駅の魅力を満載



月 日	令和2年10月10日(土) ~ 11月4日(水)
会 場	おだわら市民交流センター UMECO 多目的ホール 電話 0465-24-6611
時 間	午前9時 ~ 午後9時30分 UMECO の開館時間と同じ (初日は午後1時から、最終日は午後6時まで)
テ ー マ	小田原駅開業100年、小田原駅の素顔、小田原市内18駅の魅力 ほか
展 示 物	写真、資料、ポスター、書籍、旧駅舎構造物、模型、ジオラマ ほか
入 場 料	無 料
そ の 他	鉄道模型(Nゲージ)運転会も実施(期日、時間はHPで案内)

- * 11月1日(日)に予定しておりました、鉄道をテーマにした講演会は、延期とさせていただきます。
- * 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場では“3密”を避けるよう、ご協力をお願いします。
- * 会場には有料駐車場がございます。また、会場近くの小田原駅もぜひ、ご見学ください。

小田原鉄道歴史研究会 HP : <http://odawara-rail.sakura.ne.jp/> 担当 : 小室 070-6645-5877 鈴木 090-2426-4214



平成の御代 誕生の頃の小田原駅 (平成16年 現駅舎に使命を譲る) イラスト: 沖野祐史

主催 :  小田原鉄道歴史研究会
後援 :  小田原市

第12回鉄道資料展

おめでたづくしの小田原市 ----

小田原城天守閣復興60年、小田原市制80年 & 小田原駅開業100年

『鉄道のまち 小田原』をやさしくご案内します

小田原市には、18の鉄道駅があります。

東海道線	国府津 ~ 鴨宮 ~ 小田原 ~ 早川 ~ 根府川
小田急線	小田原 ~ 足柄 ~ 蛍田 ~ 富水 ~ 栢山
大雄山線	小田原 ~ 緑町 ~ 井細田 ~ 五百羅漢 ~ 穴部 ~ 飯田岡
箱根登山線	小田原 ~ 箱根板橋 ~ 風祭 ~ 入生田
御殿場線	国府津 ~ 下曾我

平塚市(人口26万人)は平塚駅1駅、宮古市(人口5.2万人)は22もの駅があります。

東海道線は、国府津から松田、御殿場を經由して沼津に抜けるルートで建設が始まりました。鉄道が通らないことに不安を感じた小田原や箱根の人々は、鉄道建設に乗り出します。

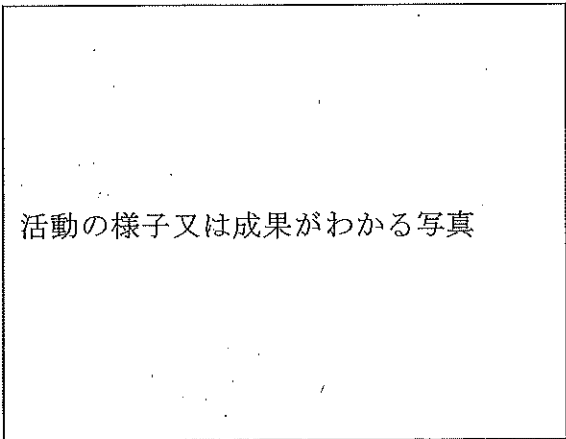
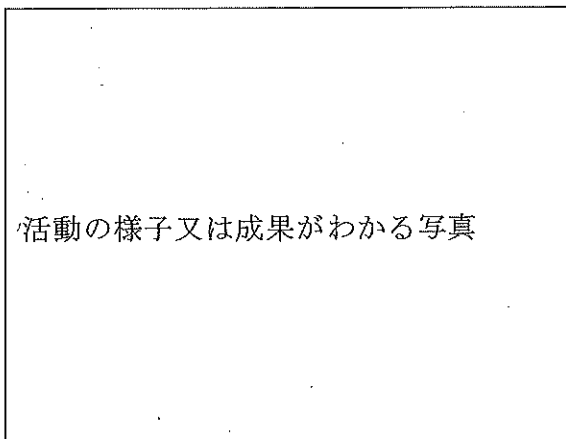
明治21年	国府津から小田原中心地を通り、湯本までの“小田原馬車鉄道”が開通
33年	“小田原馬車鉄道”は電化され“小田原電気鉄道”となる
大正9年	小田原駅が開業 この地にあった神奈川県第二中学校(現:小田原高校)は、大正3年に八幡山へ移転 小田原電気鉄道は小田原~国府津を廃止する
14年	大雄山線が開通
昭和2年	小田急線が開通
9年	丹那トンネルが完成し、東海道線のルートが変更になる 小田原経由の新ルートが東海道線、御殿場経由の旧ルートが御殿場線に
10年	大正8年に湯本~強羅を開通させた箱根登山鉄道が、湯本~小田原を開通させる
15年	小田原町が市制施行、“小田原市”が誕生 初代市長は益田信世先生
29年	足柄下郡国府津町、酒匂町、下府中村、上府中村、曾我村などが小田原市に合併
35年	小田原城天守閣が再建される
39年	東京オリンピック開催 東海道新幹線が開業、小田原にも駅が設けられる
46年	足柄下郡橋町が小田原市に合併し、現在の小田原市が完成

主催： 小田原鉄道歴史研究会

後援： 小田原市

小田原市市民活動応援補助金事業成果報告書

事業名	心地よい森づくりと間伐材の利活用事業
団体名	(おたけら) 森のなかま
事業の内容	<p>コロナ禍にあり、4月25日のガイダンスのイベントや11月29日のUMECO祭りが例年とは異なる形での開催で作成したベンチをアピールする場はなかった。前半は昼食をとる前中で作業を行ってきたが後半は、午後14時頃まで作業をすむことかできた。</p> <p>○間伐作業及び製材皮むき 7/12 8/23 9/13 10/4 10/11 10/25</p> <p>○ベンチのパーツ作り及び組み立て 11/22 12/23 1/27 2/14 2/22 3/22</p> <p>○その他(山見ベンチ設置、広葉樹伐採) 4/5 5/31 8/9 11/8 11/10 11/31 3/14 (3/28)</p>
事業の成果	<p>久野沢畔林において製材ブスの完成をすむことかでき、林内で間伐したあとすぐに製材し、前年度完成した乾燥ブスで乾燥させることかできるようになった。このことからベンチ作りをするための材を1ヶ月前と比べ交して適切に保管することかできるようになった。</p> <p>ベンチ作りについては、それぞれのパーツをほしめに作り組み立てをし、ネジで止めるなどの作業技術を、専門的に学んでいる会員に教えてもらいそれぞれの作製技術の向上につなげたことは、昨年度に比べての一步とった。</p>
今後の事業展開	<p>「間伐材を活用して自分のベンチを作ることから多くの人に心ほよく座するベンチ作りの楽しさを知ってもらおう」と合言葉に間伐材の利活用について広く知ってもらえるようにしたい。市民と一帯者ベンチ作りをしていくためには会員のレベルアップがまず必要になってくるので、経験者を積みながらベンチのパーツ作り、組み立て作業を順番などに用意できるようにイベントに向けての準備期間としたい。年2回くらいのイベントで組み立てを紹介し、ベンチ作りを広げていこう。</p>





様式第12号（第13条関係）

小田原市市民活動応援補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位：円)

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
1 市民活動応援 補助金	140,000	
2 会費収入	35,766	会員会費 2,000×17人 寄付金 1,766
3 事業収入	0	(イベント中止・活動自粛のため)
収入合計	175,766	

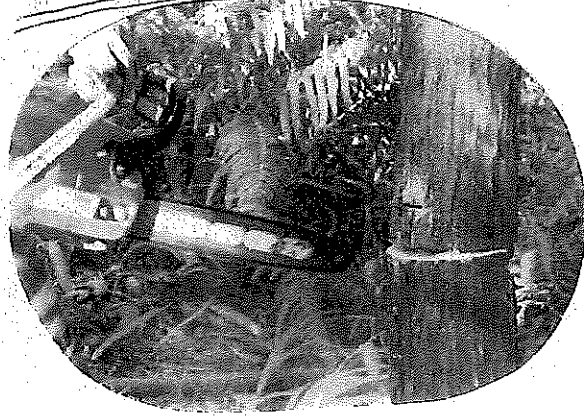
2 支出の部

(単位：円)

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
1 ベンチ作り 備品購入費	70,000	チェーンソー（スチールMS201）
備品修繕	22,088	11/25 チェーンソー修理代(シンガリ・ゼリア) 2/13 チェーンソー修理（2台）
消耗品	25,678	10/31 チョークライン・粉チョーク 11/21 木用ネジ・ドリルネジ 12/19 ナット・レンチ 12/26 材木・製図用墨液・墨つぼ 2/14 木ネジ・紙やすり 2/26 作業台
2 技術研修会	0	(活動自粛のため開催中止)
3 補助金の返還	58,000	
支出合計	175,766	

おたから森のなまは、小田原の森で、間伐、枝打ち、下草刈りなどを「行うボランティア団体です。
(SINCE 2002)

間伐材をつかって ^{Do It Yourself} D.I.Y



久野の森で間伐した木を...



チェーンソー
ついでに
その場で
製材します。
半割丸太も
つくれます。



森の中に
ベンチ完成。

森での作業に
関心のある方...

間伐材や半割丸太
手作りベンチ etc... を
ご購入したい方...

ベンチづくりを
したい方...

ご連絡お待ちしております！

森のなま

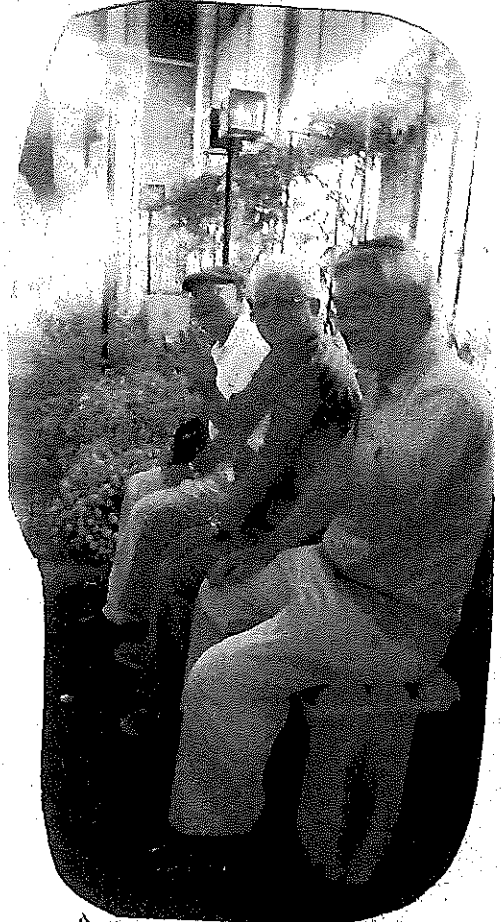
★代表... 山本 090-8515-7153

★事務局... 小清水 090-6531-1679

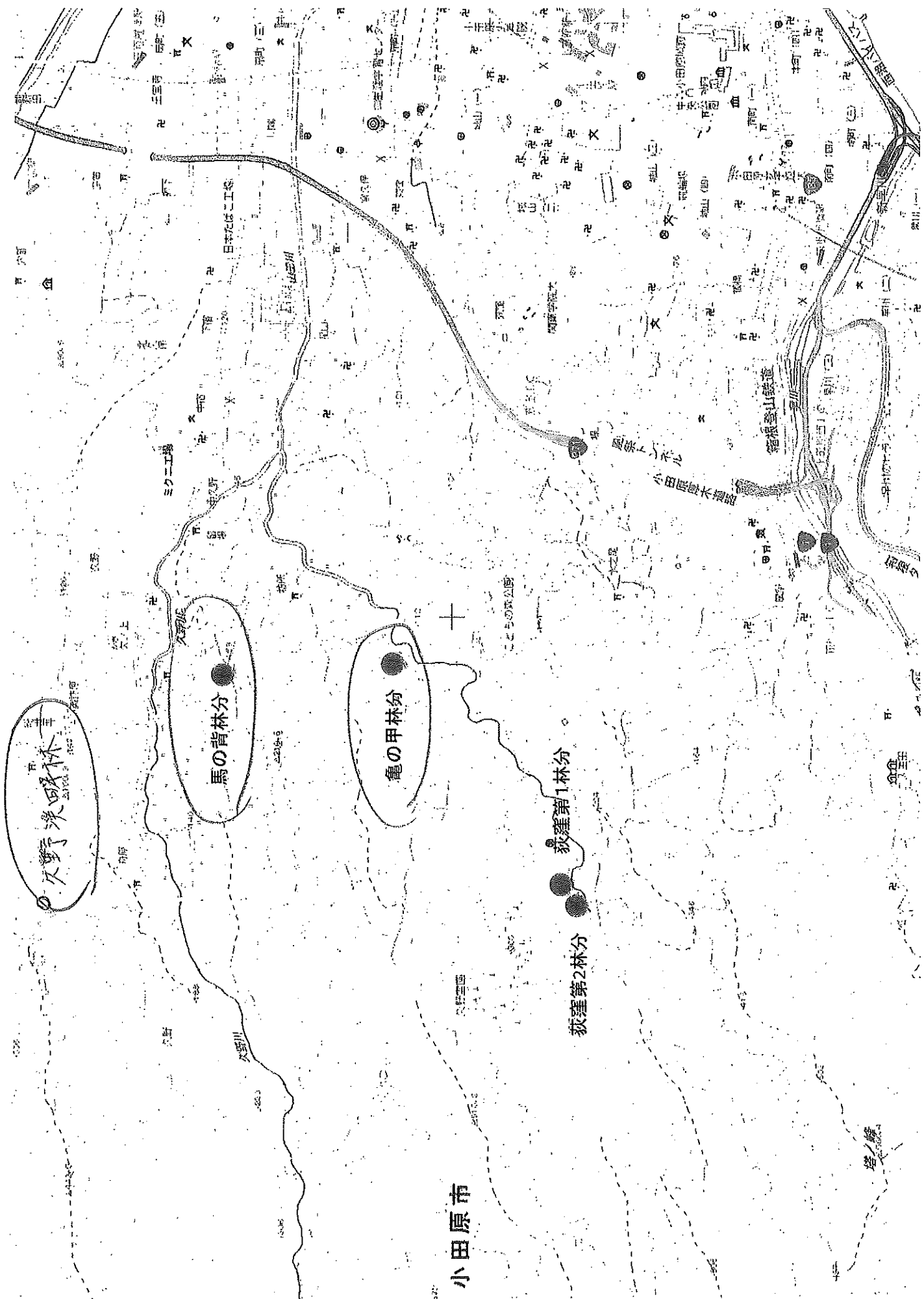
→ 19:00.12:00 以降に
お休みです

— ただ今、ベンチの形を石研中！ — アイデアも募集中 —

森から伐り出した木で、ベンチをつくりました。



このベンチは、ダイヤ径の
リネン金釘をきいて置いて
うていましてます。かたじけなく
いらいですか？



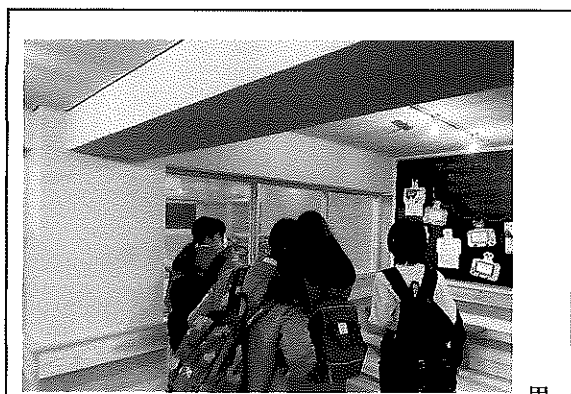
小田原市

様式第 1 1 号 (第 1 3 条関係)

小田原市市民活動応援補助金事業成果報告書

事業名	子育て中のママによる子育て情報誌発行事業
団体名	NPO 法人 mama' s hug
事業の内容	春号、夏号、秋号、冬号、各号 3 名で 1 チームを構成し、企画・取材・制作・配布までを行う。制作スタッフについては小田原在住ママを対象に募集したが、オンラインでの募集もあり、小田原以外に住むママたちの参加となった。自粛中につきオンラインでの募集と打ち合わせをした。冊子のテーマは「子育て・コミュニティ・社会貢献」とすることから、それに沿った内容で、オンライン上で打ち合わせをし、ママの視点による内容を決めていく。発行した冊子は、子育て支援センターとオンラインでの閲覧をする。冬、春号は地元城北高校のデザイン科と連携を取り、授業の一環として冊子の制作にあたった。
事業の成果	コロナ自粛中に始めたこの取り組みは、小田原市内で育児をするママを対象にするつもりだったが、オンラインというどこからも参加できる場所での活動で地域国境、年齢を超えて活動することができた。そしてオンラインではあるが、子どもを抱えて外に出られないママたちのコミュニティの場所にもなり、夫以外の大人との接触がメンタルヘルスケアにもなった。そして、城北高校生が冊子の作成に関わることで、新たなコミュニティが形成され、何かママたちの役に立つと言う気持ちからママ自身の自己肯定感と社会貢献度が上がったとの感想があった。この活動は産後鬱の軽減に繋がるほか、育児中のママと地域社会をつなげる機会にもなる。子育て中のママを作成スタッフとすることで、ママの就労支援にも寄与する。コミュニティがあること、コミュニケーションを取ること、そして社会貢献を感じることで産後鬱の予防に貢献できたと感じました。配布物は 1000 部を小田原市各支援センターで配布。
今後の事業展開	ママたちが求める口コミ情報を冊子にまとめ情報発信していくことで、単純な情報提供の場になるだけではなく、子育てのサポート、産後鬱の軽減、コミュニティ形成などを図っていく。今後は口コミ情報だけではなく、ライフスタイルや、育児休業中のママへの復職準備をサポートする内容など、時代やママたちのニーズに沿った内容を伝えていきたいと思う

城北高校デザイン科の来所しての取材風景 ママ記者との打ち合わせ風景 (zoom にて)



様式第12号（第13条関係）

小田原市市民活動応援補助金事業収支決算書

1 収入の部

（単位：円）

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
小田原市民活動 応援補助金	200,000	
ママズハグ 自己 負担金額	68,000	
収入合計	268,000	

2 支出の部

（単位：円）

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
記者謝礼金	90,000	@15000×6名=90,000 ※記者は市民, SNS より募集
印刷製本費	135,000	製作・編集・印刷 @50,000×2=100,000（号外・秋号） @30,000×1=30,000（夏号） @5,000×1=5,000（冬・春号） ※冬・春号は城北高校生と連携して発行したため、入稿作業に係る費用のみ計上
小田原市へ返金	43,000	
支出合計	268,000	



h.u.g.

[NPO] happy us gus

夏号

会えないけど繋がるね

mama's hug

オンラインで愚痴のシェア会をしました

コロナなのに仕事に復帰するなんて、子供と離れるなんて本当に不安だった。状況は変わらないけど、自分だけじゃないとわかったのはよかった

単純に話を聞いて聞いてくれるだけでもスッキリするんだ

グループで話をしていると最初は言葉が出なかったけど、自分と同じ出身地の人がいって一気に親密な話ができた

うちは子どもは小さくはないけど、他のママたちの話を聞くだけでも繋がっている安心感ができました

聞くよ~

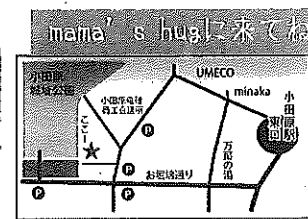
夫に意味もわからずイライラしていたけど、イライラしてもいいのだと思ったら今日夫に優しくできるかもと思った

編集長の一言

今回ご縁があってこの活動に参加をしました。自分には人をまとめることや文字を書くことが得意ではなかったのですが、ママ記者として皆さんの記事を読んだり、打ち合わせをして、漠然と「何かしたい!」と思いました。子どもがいる中での作業は大変でしたが、とても楽しかったです。この活動がもっと広がって、今度は対面式の取材ができればいいなあと思いました。

ママ記者 Y.Y

具体的な悩みはなかったけど雑談の中にポツリと出た言葉で自分が辛かったと知った



NPO法人mama's hug

〒250-0014

神奈川県小田原市城内2-16おほりぼた

ビル3A

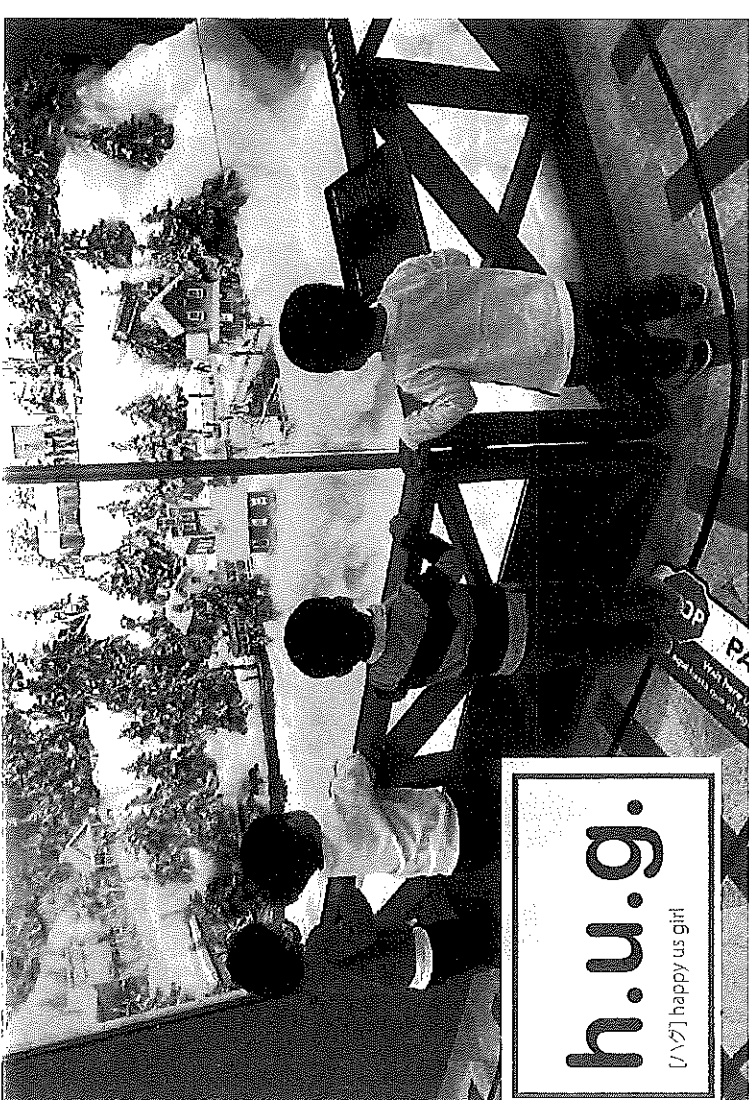


小ハブノ（の）暮らし

アメリカは11月第3木曜日にサンクスギビングデーという秋の収穫感謝祭があります。各州に住んでいる家族や親戚、お友達が集まり、みんなでターキーの丸焼きと秋の笑いの笑いのハイヤコーンブレッドなどを食べてお祝いします。楽しみにしているのが、翌日から始まるブラックフライデーという大型セール！アウトレットでは7割引なんというところもあるんです。連明け月曜日はサイバーマンデー（ネットセール）などクリスマスまで続いています。

なぜ、こんなに続くのか？というところ、アメリカの子供たちはサンタクロースを信じていますが、プレゼントは1つではなく、その子に関わる大切なおじいちゃんやおばあちゃん、親戚の人などそれぞれもらえるからです。

中高生になると自分でも家族のために人数分、用意します。アメリカではこの連休にクリスマスツリーを飾り付け、プレゼントを贈るホリデー気分を高めていく訳です。



h.u.g.
[ハグ] happy us girl

世界へひろがるTouchHug

アメリカ・ボストンに夫と2歳の息子と暮らしているアヤカです。

家の中だけでは体力を持て余すようになってきた2歳の息子。大分寒くなってきたボストンですが、思いっきり走り回られて、安全に室内で遊ぶ所を探しては友達と出掛けています。よく利用するのはレゴランド、子供博物館、そして科学博物館などの施設です。どの施設もコロナの影響で入場者数の制限があるので、普段より空いている館内を利用出来るのは嬉しいですね。

色々なイベントも息子と一緒に楽しむようになりました。例えば、ハロウィンにはカービングではなく、カボチャと一緒にペイントして、拾った落ち葉を飾って楽しみました。今週はサンクスギビングなので、一緒にターキーのクラフトをする予定です。

ボストンの冬と言ったらグラムチャウダーです。チェーン店ですが、Legal Seafoodのグラムチャウダーはホワイトハウスにも提供している程なので、間違いない美味しくてオススメですよ！



【h.u.g.発行】 NPO法人 mama's hug 〒250-0014 東京都川崎市小田原市城内2-16-6 振替口座 25004500



ワシントンでの暮らし

ワシントン州はエバーグリーンステートと呼ばれ、一年を通してでも緑豊かな場所です。山や丘、そして湖に囲まれた土地は、心を元気にしてくれます。

シアトルから車で20分ほどの所にトレイルと呼ばれるハイキングコースがあります。住宅街にある数キロで終わる簡単なコースから、州立公園を巡る本格的なコースまで様々なコースが至る所にあります。

どのコースも水々が流れ、新鮮な空気を吸いながら歩くのは気持ちがいいです。今日はおそに行こう！と、水一本持って気軽に家族でハイキングできるのが嬉しいです。

買い物はSafeway、QFC、Trader Joe'sといったところに出かけます。最近ではamazonで食料を購入する人も増えてきました。共通しているのは、どのお店でもオーガニック製品が豊富に揃っていることです。肉、乳製品、パン、お菓子、ジュース...。全てオーガニックで揃えることができます。

このエリアの人々の安全な食への関心はとて高いです。この思われた環境の中で、子供たちも心豊かに伸び伸びと成長していただけたらと願っています。

日本の子育てとアメリカの子育てとでは大きく異なる点があります。子育てをする土地が違えば、同じ育児をするママとの交流をしてみませんか？

開催 毎月第3金曜日
時間 10:00~
申し込み ママズハグ ホームページより
参加費 無料



小田原市長様

小田原市市民提案型協働事業 実施報告書

2021年 3月 26日

団体名 NPO 法人 mama's hug(ママズハグ)
担当課名 子育て政策課

小田原市市民提案型協働事業を終了したので、事業実績を次のとおり報告します。

事業名	mama job サミット
事業実施期間	2020年 4月 1日 ~ 2021年 2月 20日
事業の実施概要	NPO 法人 mama's hug が取り組むママの就労支援 子育てしやすい環境づくりを目指し、女性のライフスタイルに合わせた仕事と、子育ての両立を推進するため就労意識の高い女性を対象としたセミナーの開催やチャレンジショップの開催などに取り組みました。 今年度は小田原市との協働事業として以下の3事業を実施しました。
具体的な実施内容 (実施日・実施内容・参加者数等をご記入ください)	<p>1. mama job サミット (令和2年6月7日、11月3日) すでに起業している様々なママを講師として招き、各々のライフスタイルに合わせた働き方に関する後援を実施するほか、企業や行政の就労情報を提供するイベントを実施。50名程度の参加があり、1名の就労支援に成功した。</p> <p>2. ママのための専門事業 (mama-sen 事業) (令和2年7月14日、10月15日、令和3年2月10日、16日) 在宅ワークセミナーや集客のための WEB ライティング講座を実施するほか起業家ママによる講座を実施。この他実際に働いているママがいる職場体験を実施してどのように子育てと両立して就業しているのか仕事をしている想いなどの zoom 教室を実施。三回目に予定していた2月10日に実施予定だったママが働くカフェへのスタディツアーはコロナのため変更してママのキッチンビジネスに変更させていただき、育児中のママが作る洗剤を自分の家で量り売りができるビジネスや告知の方法をレクチャーした。</p> <p>3. トライアンドチャレンジ事業 (令和2年7月14日、11月3日) 自らスキルを身につけ出店する場を求めている人向け、子供がいても出店できるようお試しの場を提供。新規顧客の獲得に成功し今後の展開へのヒントになった。</p>
添付書類	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ ・写真 ・アンケート結果

(単位:円)

総事業費	454,481	市の支出	426,500
		団体の支出 (他の収入等含)	27,981 (団体資金 18,981+協賛金 等 9,000)

1 収入の部

(単位:円)

科目	金額	積算根拠 (数量・単価など)
企業出店	2,000	mama job 事業 1回×2社×1,000
サンプル協賛	2,000	mama job 事業 1回×2社×1,000
リクルート協賛	1,000	mama job 事業 1回×1社×1,000
ママトリアル出店	4,000	チャレンジ&トライ事業 2回×4店舗×500
小田原市負担金	426,500	
団体資金	18,981	
収入合計	454,481	

2 支出の部

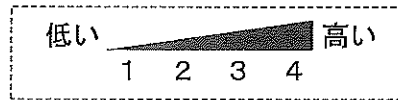
(単位:円)

科目	金額	積算根拠 (数量・単価など)
有償ボランティア	128,000	<ul style="list-style-type: none"> ●プログラム・企画書立案 3,000×15人=45,000 ●広告・当日案内作成(広告デザイン) 3,000×6人=18,000 ●当日受付・会場準備・後片付け 1,000×13人×=13,000 ●告知に関わる人件費 (SNS等) 1,000×8人=8,000 ●ベビーシッター 1,200×30時間=36,000 ●アンケート集計 500×16人=8,000
報酬費	180,000	●講座代 (mamajob、mama-sen 事業講師謝礼) 30,000×6人=180,000
備品購入費	4,818	●アンケート用記入用紙・筆記用具 4,818
印刷製本代	23,163	●告知用フライヤー代 7,311+10,000+5,852=23,163
材料費	118,500	●キッチンビジネス用ファーストキット 42,295+76,205=118,500
支出合計	454,481	

市民提案型協働事業 評価シート

事業名	mama job サミット
団体名	NPO法人mama's hug
担当課名	子育て政策課

◆個別評価（いずれかの項目にチェックしてください）



○事業目的

	団 体				担 当 課			
事業目的を共有できましたか。	1	2	3	4	1	2	3	4
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業スケジュールどおりに実施できましたか。	1	2	3	4	1	2	3	4
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
経費に見合うサービスの提供（費用対効果）ができましたか。	1	2	3	4	1	2	3	4
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

○役割分担

	団 体				担 当 課			
お互いの立場・役割を尊重して事業を進めることができましたか。	1	2	3	4	1	2	3	4
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
お互いの特性を活かすことができましたか。	1	2	3	4	1	2	3	4
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
十分な協議を行い、対等なパートナーとして実施できましたか。	1	2	3	4	1	2	3	4
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

○協働による取組

	団 体				担 当 課			
事業実施に対する市民（受益者）の満足度は高まりましたか。	1	2	3	4	1	2	3	4
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
単独で行うよりも、相乗効果や波及効果は得られましたか。	1	2	3	4	1	2	3	4
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

◆成果や課題等について具体的に記入してください

	団体記載欄	担当課記載欄
協働によって生まれた成果、事業を実施して良かった点など	<p>協働することにより、当団体が有するノウハウ経験などを活かした就労支援の着実な実施が可能になる事に加え、子育て家庭及び女性の就労支援という視点においては、小田原市の総合計画に協力できたと思う。</p> <p>本事業により就労しやすい環境を作ることは、ワーク・ライフ・バランスの構築に繋がり「子育てしやすいまち」というまちづくりにも寄与するものであり、そのために民間と行政との協力は必要であり当団体のみで実施するよりも後援や広報の掲載もあり成果があった。信頼度も増した。</p>	<p>行政では把握仕切れない子育て家庭及び女性の状況やニーズの把握が可能となり、行政単独で実施するよりも効果的な事業の実施が可能になった。</p> <p>また、協働事業として事業目的などを共有し合うことにより、ワークライフバランスを図るなど、子育てしやすいまちづくりを推進していく上での行政と民間団体それぞれの考え方を確認し合える結果につながった。</p>
事業を実施した上での課題や、当初の予定と変更になった点、今後の展開など	<p>コロナ禍の中集客が難しかった。行政に協力していただきながらもチラシの配布場所に制限があり、今後このような状況でも集客への課題は考える必要があります。</p> <p>最後のトライアンドチャレンジではカフェで働くママのお話をお聞きする予定でしたが中止になり代わりにママのキッチンビジネスセミナーへ変更いたしました。</p> <p>今後の展開として引き続き子育て中でも活躍しているママの講座などを開き、就労支援をしていきたいと思っております。今回できなかったカフェへの見学を実施したいです。今回変更になったママのキッチンビジネスも楽しく無理なく仕事ができる事業なので広めていきたい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、スケジュールどおりに実施できないことが多く、その都度調整はしていたが、もっと綿密に連絡を取り合うことで、より一層効率的かつ効果的な事業の実施が可能になったと考える。</p> <p>トライアンドチャレンジ事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止することになり、代わりにの事業としてママのキッチンビジネスセミナーを実施した。</p> <p>今後、本事業に関わらず、本事業における実績を活かし、引き続き連携を図っていく。</p> <p>また、就労支援については、ハローワークや他の機関においても取り組まれていることから、「女性の就労支援」を目的とせず、育児に余裕ができた人、あるいは、育児疲れ等でリフレッシュの場を求めている人などに対する子育て支援の一環として、「女性の就労支援」に取り組んでいく。</p>
その他 (本制度の仕組みなど、上記以外について)	<p>行政の方に参加していただきママの声を聞いていただいたことがよかったです。</p>	

◆総合評価 (A～Dのいずれかを記入してください)

市民提案型協働事業としての目的を達成できましたか。個別評価、成果や課題等を踏まえて記入してください。

総合評価	B
------	---

A：十分達成できた

B：課題は残ったが概ね達成できた

C：あまり達成できなかった

PD：ほとんど達成できなかった

◆市民提案型協働事業の制度による事業期間終了後、現在の事業はどのように展開される予定ですか

協定・契約等による事業継続

団体が単独で実施

行政が単独で実施

休止または終了

その他（本年度は協働事業ではなく後援という形で実施していきたいと考えます）

7月14日(TSU) 10:00-15:00

mama job サミット

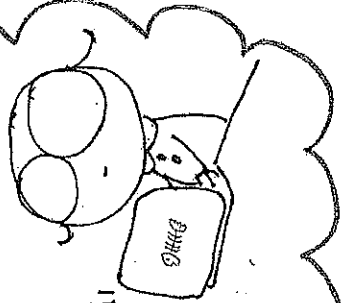
mama-sen 事業 - ママの海の専門学校 -

1. 講師 白井 一 一般社団法人 社会福祉代表

羽柴 亜紗子

企画・営業を兼修した経験豊富な方、
企画をする上での自分の流しやポイントを例
起業するまでのお話し

2. 實業家 池谷



事前予約はこちら
(11月2日(土)締め切り)
on line



ご自宅から無料で参加できるオンライン講座 **ZOOM** 使用

11:00~11:15 はじめのあいさつ

NPO法人mama's hug 代表 山本節世

11:20~12:00

子供の成長に合わせて準備でき、生き方

羽柴亜紗子 一般社団法人がもしが代表

株式会社オールアウトマーケティング担当、企画営業を統括、子会社のオールアウトライフワークスへ出向、新規事業として子会社のワンタスクスクールfor kidsの事業の運営と、一般社団法人がもしが設立、先、役員として協賛校の先生たちと、お母さま向け講座「ワークエントスカラーfor kids」を運営、得意物「子どもとどう向きあうか」のノウハウ書籍「独立女子大学 白田桃子先生 東京出版、2限の扉。早月と夏は秋は、



12:00~13:00

Job Information!
求人情報コーナー

お母さまのあしらい

13:00~13:40

自分を好きになるメイクと仕事の仕方

YOSHJNKO WALTZ 主宰

ヘアメイクアップアーティスト、女優、古くは西田のウエディングフォトやアーティストUAのヘアメイクなど東北人のヘアメイクを多く手掛けている。独自の業務領域での能力を、本業に活かす。本人も気付かない自分の素質や断り力等の発見が出来る。「女性であることごとくごまかして居ない」といって如何にかの活躍をされている。



13:40~14:00 おわりのおあいさつ

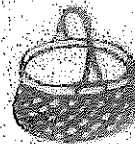
オンライン講座は「ちいたっぱら」のモニターでお願いいたします

お問い合わせ窓口：NPO法人mama's hug ☎0465-20-6898 (9:30-18:00)

mama Job サミット

2020年11月3日

VCL4



ちいたっぱら SHOP

10:00~16:00

- バス工場のPolon & とらふめ〜お母さまとほっとする自家製パンと焼き菓子
- La-La-Beach/スワロフスキーを贈った半ラリと輝くアクセサリー
- カールネファミリー株式会社/ドイツ最新システム教材紹介と書籍プレゼント
- スイーツラケル/焼き菓子販売 家族人気メニュー
- カイロプラクティック屋敷/発熱調整 or パントマッサー
- EMO/エモーショナルな発熱がとつくるおまじない
- 黒川線六三郎/福岡原の美味しい水と特産大型にこだわったお豆腐汁、一斗、お茶葉
- 志村良栄校舎/遊元の美味しいお米、お菓子お茶などが、パーティー商社紹介
- hohare/アロマリーディングとリーディングがホールの販売
- mama's hug/ベビーマッサー、ソファタープ作り、フォトブック

正業家山本節世の「ちいたっぱら」

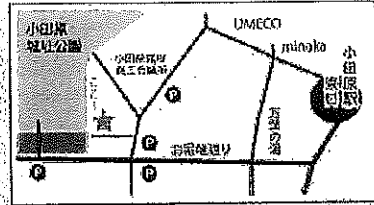
ちいたっぱらには求人情報の掲示版があるよ。いつでも気軽に来マケ!

▶ コロナウイルス感染症対策 ▶ 安心・安全のためにご協力ください

- ①会場では換気を行います。発熱や体調不良がある方はお家でゆっくりしてください。
- ②マスクの着用、手指消毒にご協力をお願いします。
- ③感染経路追跡に協力、来場者の方には連絡先の提示をお願いいたします。
- ④いただいた個人情報は他の用途には使用することなく、2週間後を目途に削除します。

ところで「ちいたっぱら」って?

2020年の夏にオープンした、mama's hugの拠点として本館の隣に「ちいたっぱら」をオープンしました。正業家はママさん向けに様々なお話しを聞いていただき、ママさんたちが自分たちでできることを目指しています。ママさんたちが自分たちでできることを目指しています。ママさんたちが自分たちでできることを目指しています。

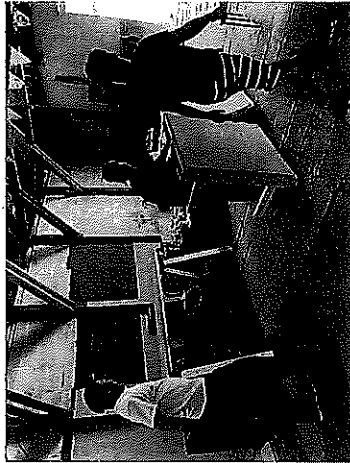
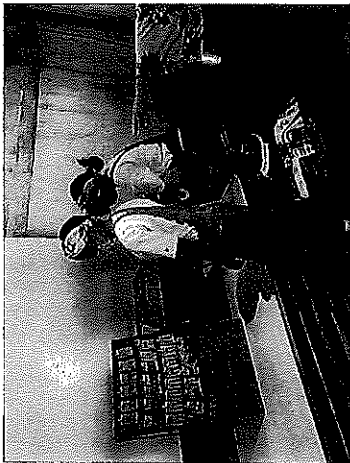


〒250-0014 沼津市城田2-10-13 ちいたっぱらビル1階 正業家山本節世の「ちいたっぱら」

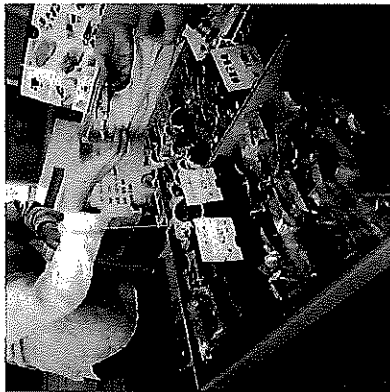
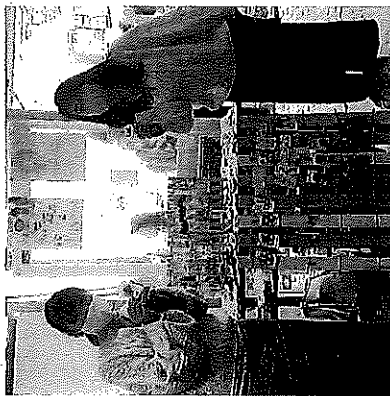
- 開催日：令和3年6月7日、11月3日
 ○内容：①オンライン会議ZOOMを活用し、実際に起業した先輩ママを講師として招き、各々のライフスタイルに合わせた働き方に関する講演を実施した。
 ②起業しているママによる雑貨等の販売（実店舗での販売）

<当日の様子について>

- ・令和2年6月7日 ワーキングスペース「BREND」にて起業したママによる雑貨の販売を行った。



- ・令和2年11月3日 当日販売の様子。



- 開催日：令和2年7月14日、10月15日、令和3年2月10日※、16日
 ※令和3年2月10日は新型コロナウイルス感染症の影響のため、「ママのキッチンペン」へ内容を変更した。
 ○内容：オンライン講座を実施。（WEB ライティング講座、起業家ママによる講座など。）

<当日の様子>

- ・起業家ママによるオンライン講座の様子。



- ・オンラインメイク講座の様子



ママのキッチンビジネスについて

内容

湘南で生まれた環境活動家を作る洗剤の量り売りビジネス。
地域のゴミ拾いや環境活動をしながら、子育てをしながら、ご自宅で洗剤の量り売りをします。
そのビジネスのノウハウやサポートを提供し、スタートビジネス立ち上げのサポートをしました

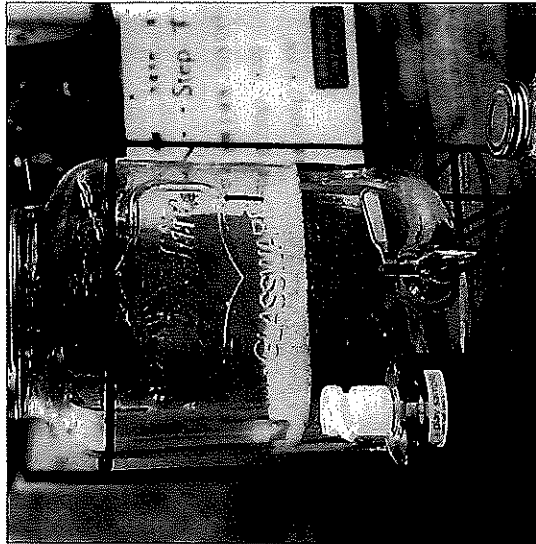
目的

一つ目の目的は、起業といっても大きく始めるものもありますが、自分の資金力や行動力に合ったスタートビジネスから始められるために作られた(自分のキッチン規模から始めるという意味)キッチンビジネスです。単純にモノを売るのではなく、商品(モノ)のストーリーや社会活動について勉強会を開き学んでいただきました。
二つ目の目的はコミュニティ作りです。自分たちが量り売りをするとともに、ママ同士お話をしたり、ストレッチを少しでも発散できると良いと考えています

結果

4人の方が参加した。

※実際に使用するキットの写真(ママのキッチンビジネスセット)

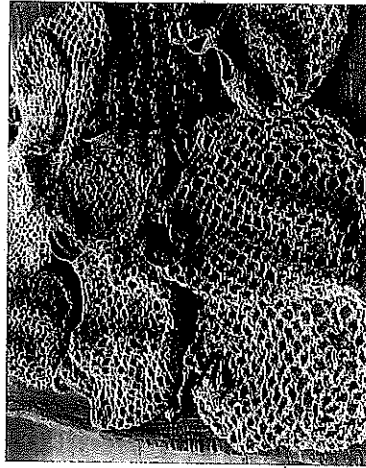
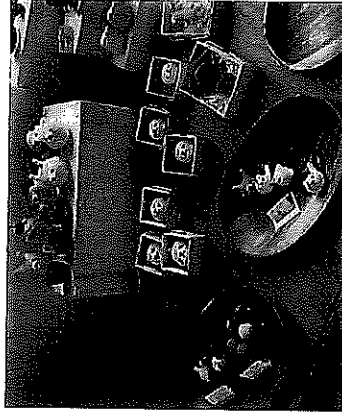


トライアンドエラー事業

○開催日：令和2年7月14日、11日3日

○内容：お店を持つには勇気がまだ出ない、自分の作ったものが売れるか分からない、でも試してみたいという「何かをしたい」ママへちよっとお試してショップを開くイベントを実施した。

<実際の様子>



アンケート

①イベント申込時に実施したアンケート結果

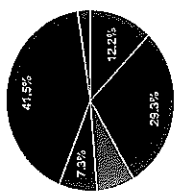
- ・対象者：イベント申込者（申込時に実施）/イベント参加者（各イベント終了時に実施）
- ・実施方法：WEBによるアンケート

<下記のアンケート調査を行いわかったこと>

- ・働くことに興味をもっているママがたくさんいることがわかりました。
- ・目的としてはお金よりやりがいや求めている人のほうが多くありました。
- ・そんな中働けない理由として、キャリアアップについての不安、育児と両立できるかどうかという悩みがありました。
- ・その悩みを少しでも解消するためにこのmama job サミットを継続することは働きたい女性が仕事に就くきっかけとなると思います。
- ・また、今回のmama job で出店していただいた菓子店への就職（パート）が決まりました。
- ・働きたいママにとって今後少しでも力になれる女性活躍イベントにしていきたいと思いをしました。

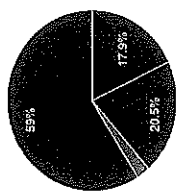
①イベント申込時に実施したアンケート結果

誰かと話を共有しましたか？
41件の回答



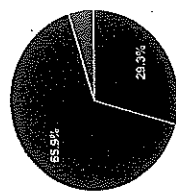
- 友達
- パートナー
- 親
- 職場の人
- 知らない
- 家族以外
- その他

働く目的は何ですか？
39件の回答



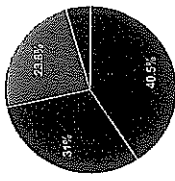
- お金
- やりがい
- 気分転換
- 趣味
- おからない

どんな働き方がいいですか？
41件の回答



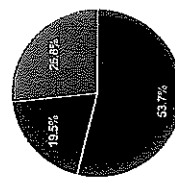
- 正社員
- フリーランス
- パート

お子様は何人ですか？
42件の回答



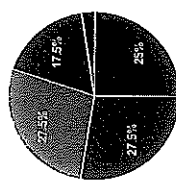
- 一人
- 二人
- 三人
- 四人
- 五人以上
- 回答数6

お仕事をしていますか？
41件の回答



- 就労中
- 無職
- 転職を希望している
- 回答数4

このイベントの価値はなんですか？
40件の回答

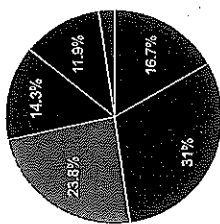


- 専門的スキルが身についた
- 転職を考えている
- 仕事と家庭のバランスについて何かと...
- 経営者になりたい
- その他

②イベント参加者向けアンケートの結果

イベントが終わっての感想

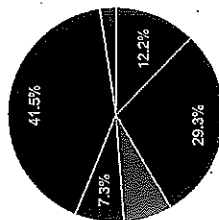
42 件の回答



- ① 深い話と聞けた (現実的じゃない)
- ② 自分の好きが仕事になると嬉しい
- ③ キャリアがなくても起業ができる
- ④ 子どもを預けなくても仕事ができそう
- ⑤ 子どもを保育園に預けることに難題...
- ⑥ 何から始めて良いかわかった (気がす...)

誰かと話を共有しましたか？

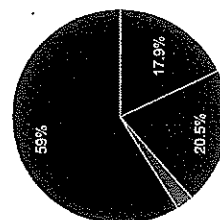
41 件の回答



- ① 友達
- ② パートナー
- ③ 親
- ④ 職場の人
- ⑤ 話をしない
- ⑥ 親戚 6
- ⑦ その他

働く目的は何ですか？

39 件の回答



- ① お金
- ② やりがい
- ③ 気分転換
- ④ 全部
- ⑤ わからない

②イベント参加者向けアンケート結果

6 件の回答

職場に託児所

夫との時間

家事やお迎え、育児の中心がママだという考えがなくなればいい

家族以外の家事支援と仕事と育児以外の時間を増やすこと

わからなくなってきた

たくさんあるけど、どうせダメだろうと思ってしまっ

今後企画して欲しいことはなんですか？

17 件の回答

資金調達 (現実的な) 助成金

夫の継続方法

同じ企業仲間との交流会

資金力を付けるには

ママ起業家たちのコミュニティ

販路メイク術

資金調達 (補助金とか助成金とか)

起業の仕方講座

副業の種類講座

働くことに必要なことは何でしょうか

14 件の回答

家族の分担

家族の分担と夫のいたわり

家事支援

形だけじゃない育児休暇の取得方法と復帰前の会社のサポート

理解

自分一人の時間を取れる

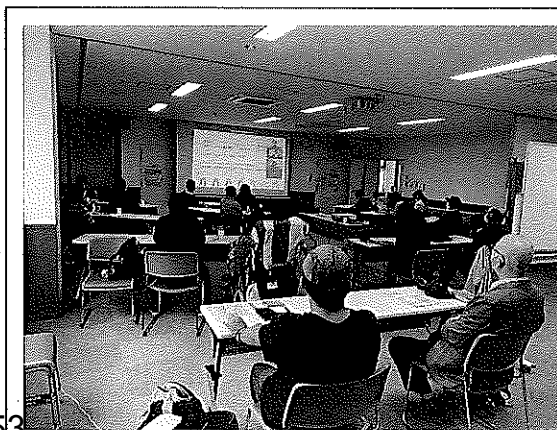
自分だけの部屋と時間

夫の理解と資金力 (自分だけに経済的負担がないこと)

資金力、失敗してもへこたれない資金体力

小田原市市民活動応援補助金事業成果報告書

事業名	バリアフリーおだわらフォーラム事業														
団体名	バリアフリーネットワークおだわら														
事業の内容	<p>「バリアフリーのまち小田原」を推進することを目的に、市民、福祉関係団体、市民活動団体、学校、企業等の人々に呼びかけ、市民フォーラムを開催した。</p> <p>実施日：10月4日（日）13時30分から17時 場所：市民交流センターUMECO ハイブリッド形式 概要：一部講演と意見交流および二部障害平等研修（グループワーク） 講演：「共生社会の実現に向けて」 講師 谷山牧 国際医療福祉大学小田原保健学科教授 「患者の立場から～僕は健常者だった」 講師 増田潤 尊厳生☆応援団会長 障害平等研修：ぶっちゃけ討論会 進行役 吉田雄一 障害平等研修登録ファシリテーター 参加費：無料 その他：小田原市の後援を受けて実施した。 各方面に、ネットワークへの理解とフォーラムの内容申込要領周知のため、ネットワークだより、ビラ、ポスター等を作成、郵送または配布した。</p>														
事業の成果	<p>①市民、障がい当事者、福祉関係従事者、学生、企業から計58人（二部のみ参加2名を含む）の参加があった。内訳→</p> <p>②事前に協賛団体を募り、市民団体、企業10団体の協賛を得ることができた。</p> <p>③コロナ禍により、感染対策を実施し、今できること、できる形を工夫することによりオンラインでの開催を実現できた。</p> <p>④事後に、ネットワークだよりにフォーラム開催結果報告特集を作成し、参加者に配布し、連携の輪を広げることが出来た。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>一部</th> <th>二部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会場</td> <td>26人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>ZOOM</td> <td>30人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>56人</td> <td>29人</td> </tr> </tbody> </table>		一部	二部	会場	26人	13人	ZOOM	30人	16人	計	56人	29人	
	一部	二部													
会場	26人	13人													
ZOOM	30人	16人													
計	56人	29人													
今後の事業展開	<p>今年度開催の経験を活かし、また新型コロナウイルス感染防止対策を実施して、バリアフリーフォーラムを継続していく。</p> <p>当事者団体、支援事業者、市民活動団体、学校、企業等のあらゆる分野の人々に呼びかけ、協賛、連携団体を増やしていく。</p> <p>これにより、市民の共生社会への関心を高めバリアフリー、ノーマライゼーションの理念の普及啓発を進める。</p>														



様式第12号（第13条関係）

小田原市市民活動応援補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位：円)

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
1. 市民活動応援補助金	100,000	小田原市
2. フォーラム協賛金	30,000	団体、企業、3,000円×10団体
3. 会費より充当	7,597	バリアフリーネットワーク会費より
収入合計	137,597	

2 支出の部

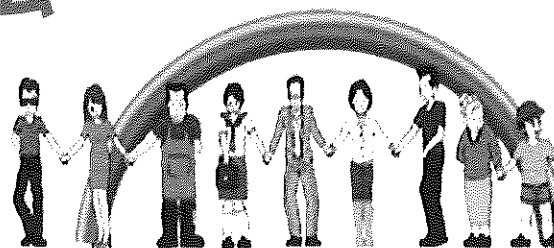
(単位：円)

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
消耗品費	9,437	コピー用紙、宛名用シール、封筒他
会場使用料	14,280	UMECO 施設使用料リハーサル2回、当日
印刷製本費	21,310	ネットワークだより（開催告知特集）A3・両面 4色1500部 フォーラムビラ A4 両面 3000部 ポスターA2 片面 4色 50部
通信費	32,570	郵送費フォーラム案内 124通 返信用切手 84円×100枚
謝礼（講師用）	60,000	講師3名
支出合計	137,597	

バリアフリーおだわらフォーラム

協賛団体募集

開催に向け、ご協力をおねがいたします。



障がい当事者団体をはじめ支援事業者や各種の団体・組織が長年にわたり、権利擁護、差別解消、社会参加等々の課題に取り組んできました。

一方で、障がい当事者にとっては、社会が変わった実感がわからない、困りごとが山積みであるといった声が多くあります。

バリアフリーネットワークおだわらは、横断的なネットワークを構築し、共に生きる社会の実現をめざしています。あらゆる分野、あらゆる立場の人々の思いと地域の活力を結集していくことにより、街中に支え合いの輪がひろがることを願っています。

この度、下記のとおり「バリアフリーおだわらフォーラム」を開催します。

是非ともご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



バリアフリーおだわらフォーラム開催概要

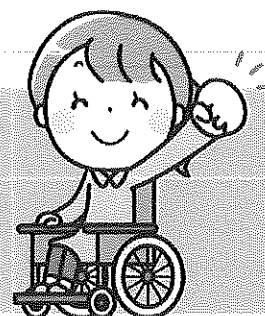
開催目的	バリアフリーの街おだわら推進に向け、より多くの市民と課題を共有したい。 障がい当事者やその家族および支援者等との交流を図る。 参加者の理解と共感が得られ、今後の活動に参加する人材や団体を増やたい。	
開催日時	2020年10月4日(日) 13時～17時	
会場	川東タウンセンターマロニエホール(3F)	
内容	第一部 基調講演	
	地域福祉の現状(仮)	国際医療福祉大学小田原保健学科教授 谷山 牧
	当事者活動から見えるもの(仮)	尊厳生☆応援団会長 増田 潤
	第二部 ぶっちゃけ討論会(障害平等研修)	
主催	バリアフリーネットワークおだわら	
後援	小田原市(障がい福祉課)	
共催団体	募集中 多数のご参加をお願いします。	
	この事業は、小田原市市民活動応援補助金対象事業です。	

バリアフリーネットワークおだわら

〒250-0875 小田原市南鴨宮 1-7-1-19

電話/FAX 0465-48-3269

Eメール barrier-free.net.odawara@mbr.nifty.com



皆様の声届けて！ 小田原市民活動応援補助金対象事業
街のバリア、心に潜むバリア、一緒に考えましょう

バリアフリーおたからフォーラム



新型コロナウイルス
できる限りの感染
対策を実施します。
私たちが今できる
ことを、一つ一つ模
索しながら開催を
めざしています。

感染拡大の状況により集合ができ
ない場合 WEB 開催、ビデオ
配信する予定。

2020年10月4日(日)

川原タウンセンター

マロニエ 3階ホール

第一部 基調講演

13時30分から15時

地域共生社会の実現に向けて

～「ケアタウンおたから」の現状と課題

小田原の福祉の現状～

谷山 牧 氏 国際医療福祉大学小田原

保健医療学部看護学科教授

患者の立場から～僕は健康者だった～

増田 潤 氏 尊厳生☆応援団

主催 バリアフリーネットワークおたから

後援 小田原市

協賛

FM 小田原株式会社 NPO 法人アール・ド・ヴィーヴル NPO 法人おたから虹の会

湘南電力株式会社 株式会社エムエーシーシステム ミコメエ 城下町スポーツクラブ

尊厳生☆応援団 (一社)神奈川県西地区リハビリテーション協議会 NPO 法人サポート-KAZE

バリアフリーおたからフォーラム 参加申し込み書

FAX 0465-48-3269

メール barrier-free.net.odawara@mbr.nifty.com

(メールの場合は、以下の事項についてお知らせ下さい。)



2020年10月4日(日)開催のバリアフリーおたからフォーラムに参加希望します。

お名前	
ご連絡先	
住所	
セッション いずれか	<input type="checkbox"/> 第一部、第二部両方に参加
に✓をお願いします	<input type="checkbox"/> 第一部基調講演のみ参加 <input type="checkbox"/> 第二部ぶっちゃけ討論会のみ参加
いただいた個人情報、参加者名簿(作成および開催についてのご連絡のみ)に使用します。 その他に使用する場合は、必ずご本人のご承諾をえるとし、個人情報保護に努めます。	

都合により Web 開催になった場合の参加についておたからねします。

開催方法についての決定は、9月10日頃に行ないます。

zoom ミーティングに参加したい	参加する	参加しない
-------------------	------	-------

新型コロナウイルス感染症予防策にご協力をお願いします

入場者制限を実施させていただきます。(先着順に受け付けます。)

当日はマスク着用でご参加下さい。

当日入場の際に、体温測定および健康チェックをさせていただきます。

あらかじめ設置した座席に着席いただき、その後はなるべく席を移動はしないでください。

万一、開催後2週間以内に感染が判明した場合、主催者への報告を必ず行なって下さい。

感染者が発生した場合、参加者にご連絡します。

なお、個人情報には主催事務局のみで把握し、守秘義務を厳守いたします。

みんなの思い、聴いて感じてつながるささあう、おたわら

電車内の優先席や車椅子用駐車スペースは、本当に必要な人のために空けておいてほしい。

エスケーターで片側乗りをみなおして！反対側につかまりたい人がいます。

外見ではわからない障がいがあります。「助けて」に気づいて！

ヘルプマークや白杖のサインに気づいたら、声をかけて！

車椅子ユーザーがバスに乗るとき、少し時間がかかります。当事者も乗務員さんも急ぎたい気持ちがあります。温かいエールを送りましょう。

目が悪くなれば眼鏡をかけるように、不自由さを補う道具や援助があればできることは多い。私たちにとって人工呼吸器や胃ろうなどのいわゆる「延命治療」は、眼鏡と同じで、機能を失った運動神経を補う道具でしかありません。そのような患者を許容し、支援できる社会であってほしい。



障がいは誰にでも起こり得る。我がこととして考えて！

バリアフリーネットワークおたわら

平成30年7月6日発足

呼びかけに賛同した団体および個人が発起人となり設立。ともに生きる社会の実現をめざし、障がいのある人の社会参加とバリアフリー交流を推進することを目的としています。

ケアタウンおたわら、一人ひとりを大切にしておたわら。市民一人ひとりが、ともに暮らす仲間への理解と支え合うところと行動ができるまらちでありたい。福祉活動団体、支援事業者のみならず、企業、学校、市民活動団体等のあらゆるみなさまの、力と思いを寄せていきたいと思っております。

定例会

毎月第1金曜日

18:30~20:00

UMECO活動エリア

または Web ミーティング



事務局

〒250-0875 小田原市南鴨宮一丁目7番1-19

電話 090-4941-8459

FAX 0465-48-3269

✉ barrier-free.net.odawara@mbr.nifty.com

会長 初鹿真樹

副会長 三辻芳雄

副会長 町田藤三

事務局 工藤澄子

臨山秀貴

f バリアフリーネットワークおたわら



メールアドレス

バリアをこえて 絆 つながるまらち

バリアフリーネットワークおたわら

Vol. 3号 2020年8月

オンライン年、輝かしい未来の幕開けの年となる筈だった今年。

バリンピック開幕に合わせて、8月にフォーラムを開催する予定でした。パンデミック！外出自粛などがつづき、今年の開催は困難かと！しかし今こそ、私たちにできること、できる形を見つめようと話し合いました。

まずは皆様に、この事業のコンセプトをお伝えしました。企業や団体・学校等から多くの協賛・ご協力のご回答をいただき、勇気づけられました。心から感謝申し上げます。ぜひとも、有意義な成果をだしたいと考えております。

皆様の声届けて！小田原市市民活動応援補助金対象事業
障のバリア、心に潜むバリア、一緒に考えましょう

バリアフリーおたわらフォーラム

2020年10月4日(日)

川原タウンセンター

マロニエ 3階ホール

第一部 基調講演 13時30分から15時

第二部 ぶっちゃけ討論会 15時から17時

新型コロナウイルス感染防止対策実施の都合により 事前申し込み をお願いします。

主催 バリアフリーネットワークおたわら

後援 小田原

協賛

FM 小田原株式会社 NPO 法人アール・ド・ヴィーグル NPO 法人おたわら虹の会

湘南電力株式会社 株式会社エンエー・システム ミニコミエ 城下町スポーツクラブ

尊厳生☆応援団 (一社) 神奈川県西部地区ハビリテーション協議会 NPO 法人サポートKAZE

協賛企業団体

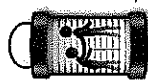
開催にあたり、協賛を申し出いただいた企業・団体をご紹介いたします。この他、数々の温かいご協力のお声を頂いています。心より感謝申し上げます。



尊厳生☆心援団



株式会社エムエーシー・システム
TEL 0465-4271222 FAX 0465-4272040



神奈川県西地区リハビリテーション協議会

障害者のQOL向上と社会参加を
応援します。



パリアフリー交流
連絡相談
NPO サポートKAZ

http://supportkaze.org

感染予防策を実施します

新型コロナウイルス感染予防策により、事前申し込みをお願いいたします。また、蔓延状況および神奈川県、小田原市から自粛要請などの状況により、Web開催に変更となる場合があります。

ぶっちゃけ討論会 15時30分～

第二部は参加者のみなさんの交流・討論タイムです。

日頃の体験や思いを語り合います。

グループワーク形式で、障害平等研修：DETを体験しましょう。

感じあひ、気づきあひ有意義なひとときとなることを期待しています。

経験豊富な、吉田雄一氏をはじめ、数人のファシリテーターが参加して下さる予定です。



講師紹介

吉田 雄一 (よしだ ゆういち) 氏

高専在学中の18歳の冬、ラグビーの試合中の事故により頸椎損傷。

2010 東京都立工業高等専門学校 生産システム工学科卒

2013～国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 障害工学研

究部 技術協力員

2018～障害平等研修登録ファシリテーター

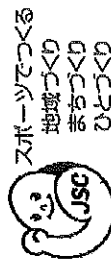
2020～WheelLog!運営 (テクニカルチームサブリーダー)

障害平等研修とは

(Disability Equality Training:DET)

障害者の社会参加や多様性に基いた共生社会を作ることを目指す。障害者自身がファシリテーターとなって進めるワークショップ型の研修です。対話を通して「発見」を積み重ねていくなかで、差別や排除など、社会のなかにある様々な「障害」を見抜く力を獲得し、それらを解決していくための行動を形成します。

城下町スポーツクラブ



ミニコミえん

一人ひとりの笑顔を届ける小田原一



http://jsc-odawara.sakura.ne.jp

https://minicomien.es.blog.jp/

パリアフリーおたわらフォーラム開催特集

みなさまの協力で、おたわらに新しい風を！

ごあいさつ

この度、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に罹患された方々には謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い快復を心よりお祈り申し上げます。また、最前線で私たちの健康福祉に貢献して下さっている医療従事者、介護従事者に心より敬意を表します。不安な日々を過ごされている皆さまにおかれましても、一日も早い事態の収束を心よりお祈り申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大により私たちの日常は大きく変わりました。行きたい場所に行けない、会いたい人に会えない……。誰もが不便を感じ、感じたことのないストレスを感じることもあるでしょう。個人を取り巻く環境 (社会) が大きく変化したこと、個々のニーズを阻むバリアが生じました。これは個人の心身機能・構造が変化しただけではなく、社会環境が変わったことで生じたものですが、多くの方が感じるこのネガティブな空気を感からこそ、手を取り合い連携していかなければならないと思います。

そんな今、だから考えること。そして今、だから考えて行きますか？

基調講演 13時30分～

☆ 地域共生社会の実現に向けて

～「ケアタウンおたわら」の現状と課題 小田原の福祉の現状～ 講師 谷山 牧 氏

☆ 患者の立場から ～僕は健常者だった～

講師 増田 潤 氏

☆ ネットワークのめざすもの

パリアフリーネットワークおたわら

講師紹介

谷山 牧 (たにやま まき) 氏



国際医療福祉大学

小田原保健医療学部看護学科教授。

神奈川県立衛生短期大学で看護師免許を取得後、横浜労災病院の内科病棟に勤務していたが、肺結核疑いのため休職。その後、保健師の資格を得たのち東京大学医学部健康科学・看護学科に編入学。卒業後、短期大学で教員として勤務。大学院への進学などを経て、現職。



講師紹介

増田 潤 (ますだ じゅん) 氏

平成 24 年、39 歳で ALS を発症

平成 24 年、徐々に力が入らず自宅での生活が困難になり入院。平成 26 年、約 1 年半の入院を経て退院し新居で生活開始。平成 28 年、気管切開 (喉頭分離) をして呼吸器を装着

平成 29 年、尊厳生☆心援団 (そんげんせい☆おたわら) 開団

「みんな楽しく！おしゃべり相談会」主催

art de vivre

アート・ド・ヴィヴルは
小田原市で活動する
障がいがある人にも参加の機会を
提供し、ともに活動するNPOです。

http://artdevivre-odawara.jp

F M
ODAWARA
87.9MHz

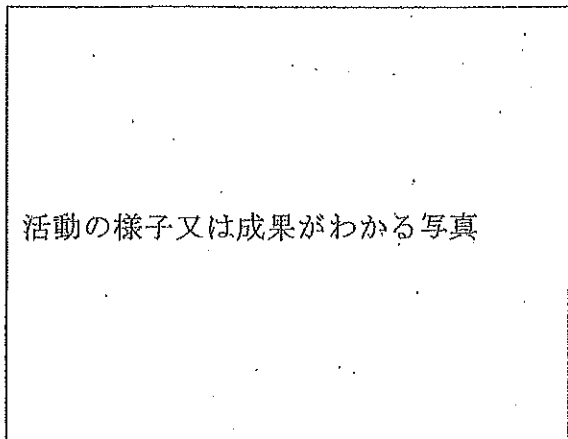
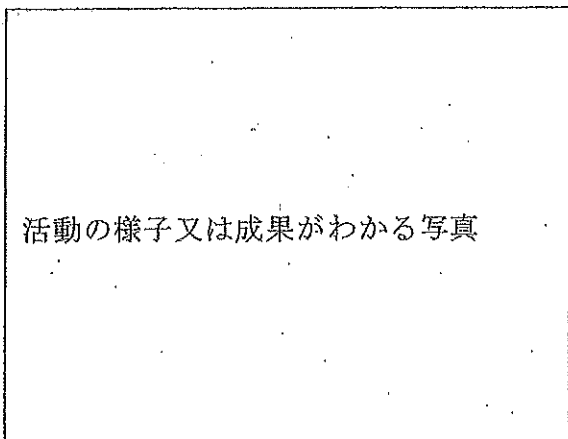
湘南電力

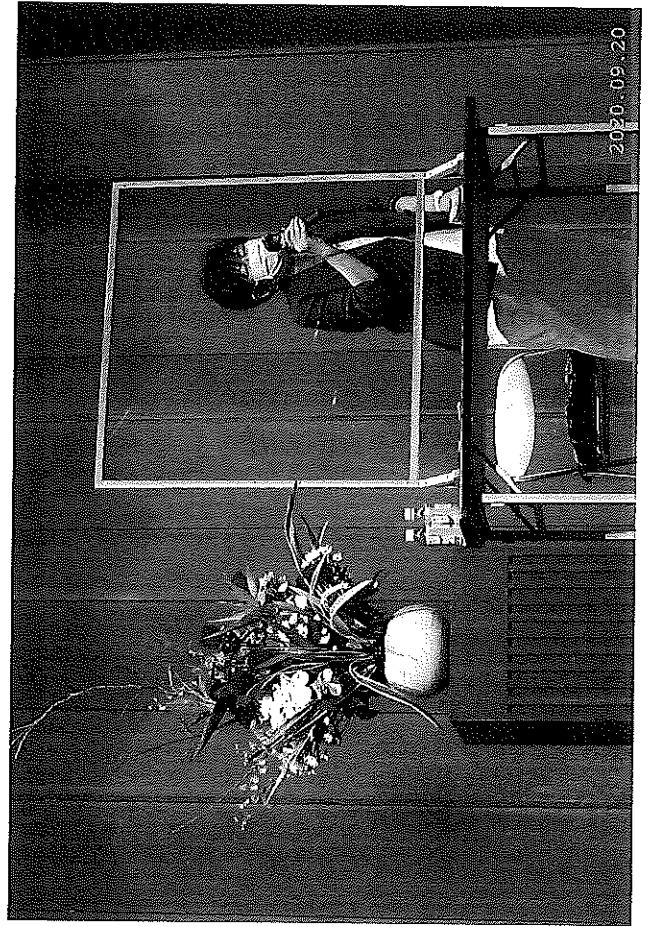
安全で安心な
電気の
完全な
電力の
地産地消
電力で
地域貢献活動

0465-34-0105

小田原市市民活動応援補助金事業成果報告書

事業名	つながる「傾聴ボランティア」の輪事業
団体名	傾聴ボランティア「まきの会」
事業の内容	傾聴ボランティアの専門家を講師に招聘し、会員の技術の向上は勿論、一般市民の方にも「傾聴する」という事を学んでいただき、より多くの方々に「傾聴ボランティア」に関心を持ってもらう。
事業の成果	新型コロナウイルス感染流行の為、開催が危ぶまれる中、 会場を確保し、開催出来た。結果、収容人員にも制限があり 十分に宣伝をしたとは見えないうえに定した50名には到達出来た。 参加者 48名 (会員24名 一般24名) 成果 アンケートを実施:(回収率79%) 100%が目標に近かった。 (別紙)アンケート用紙、集計結果、十分に成果はあった。
今後の事業展開	自粛生活を強いられている現在、尚更コミュニケーション技術は必要と思われるが、現状では今後の開催は、困難な事が多いと思われる。但し、違う手段、例えば、オンラインでの講義などの方法も探してみたい。





小田原市市民活動応援補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位：円)

科目	金額	内訳 (数量・単価など)・備考
市民活動応援補助金 会費以充当	100,000 1,247	
収入合計	101,247	

2 支出の部

(単位：円)

科目	金額	内訳 (数量・単価など)・備考
講師謝金	25,500	講師料 25,000 税金 500
交通費	13,620	講師 7,620 送迎 2,000 木下借用 4,000
会場使用料	20,150	工口福に於会場変更、会場使用料備品 花代
消耗品代	15,383	工口福用紙、工口福 PR印刷代
通信費	3,564	工口福に於、元保シテ、木下、消毒物品 駐車場代 振込手数料、PR郵送料
支出合計	101,247	

本講演会は令和2年度小田原市市民活動応援補助金で行われます

つながる傾聴ボランティアの輪
コミュニケーション上手になるには
～キモチを聴く～

講師 NPO法人 日本傾聴ボランティア協会
理事長 鈴木 絹英 先生
全国各地で（傾聴講演会、傾聴ボランティア
養成講座）講師多数

日時 : 令和2年9月20日（日）13:30開場
開演14:00～16:00

場所 : 市民会館 3F小ホール 参加費: 無料

主催 : 傾聴ボランティア「ミミの会」

代表 和田綾子

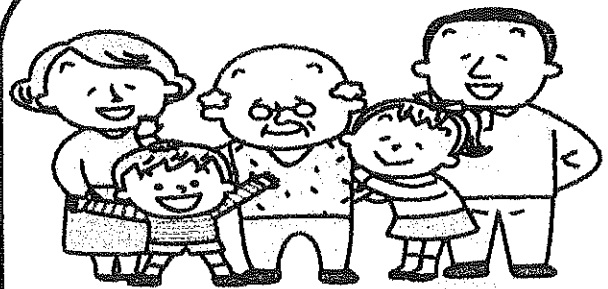
TEL 0465-36-7711

その他: マスク着用 事前検温37.5度以下 ソーシャル・ディ
スタンスの順守

未就学児入場不可



ギクシャク



家庭・職場・地域で
関係がまるやかに

新型コロナウイルスのため中止になる場合
もあります。事前確認はこちらで。

ウメコ: <http://umeco.info/http>

【プロフィール】

鈴木 絹英(すずき きぬえ)(女)

・特定非営利活動法人日本傾聴ボランティア協会・理事長

○平成 11 年、「NPO 法人ホールファミリーケア協会」を設立。高齢社会における新たな相互扶助活動である「傾聴ボランティア」活動を、日本で初めて、独自に立ち上げ、その活動の全国普及を目指して運動を展開中。同時に、人との関わり方の基本である「傾聴的に関わる・聴く」活動の普及を目指し、運動を展開中。平成 30 年 7 月 17 日に、法人名を「NPO 法人日本傾聴ボランティア協会」と改称。

◎これまでの活動を認められ、平成 25 年度 内閣府大臣「エイジレス・ライフ」実践者 表彰を受賞

○著書：

- ①「新・聴くことでできる社会貢献 傾聴ボランティアのすすめ」(三省堂) (¥1760)
 - ②「『傾聴』～聴き方しだいで人間関係が決まる」(協会発行) (¥1320) ※現在在庫ナシ
 - ③「1 日 5 分成功する話の聴き方」(リバティ出版) (¥1320)
 - ④「傾聴ボランティア体験記」(三省堂) (¥1760)
 - ※他に、「人目でわかる傾聴ボランティア」(NHK 出版) (現在在庫ナシ)
 - ⑤冊子「わかりやすい傾聴ボランティア活動の基本」(¥930)
 - ⑥冊子「施設における傾聴ボランティア活動の仕方」(¥930)
 - ⑦冊子「個人宅での傾聴ボランティア活動の仕方」(上下巻) (¥1860)
 - ⑧冊子「個人宅での傾聴ボランティア活動の仕方」(簡便版) (¥930)
 - ⑨冊子「認知症高齢者への関わり方～介護家族として～」(¥930)
 - ⑩冊子「傾聴ボランティア活動対話例 いい例・悪い例 ポイント解説その①」(¥930)
 - ⑪冊子「傾聴ボランティア活動対話例 いい例・悪い例 ポイント解説その②」(¥930)
 - ⑫冊子「認知症高齢者への関わり方～傾聴ボランティアとして～」(¥930)
 - ⑬冊子「傾聴ボランティア活動対話例 いい例・悪い例 ポイント解説その③」(¥930)
 - ⑭冊子「傾聴ボランティア 基本の再確認 ～養成講座ふうに～」(¥930)
 - ⑮冊子「初心者のための傾聴ボランティア活動ガイド～入門編～」(¥930)
 - ⑯冊子「傾聴ボランティアっていいね！～熊沢晴子活動報告集～」(¥930)
 - ⑰冊子「活動上の疑問・困り事 30 例に答える」(¥930)
 - ⑱冊子「自分にとって傾聴ボランティアとは～熱い思いの寄稿集～」その①② 1 セット(¥1,250) (※全国 30 名の傾聴ボランティアの活動報告集)
 - ⑲冊子「小さな半日陰庭 花日記」(¥930)・・・上記ご注文は電話・Fax・E-mail で
 - ◎年間購読誌「月刊傾聴ボランティア」(20 年/8 月現在通巻 233 号発行中) (¥5400)
- ※傾聴ボランティア活動には必携の活動に関するガイド&情報誌です。

○講師等：

- ・シニア・ピア・カウンセラー/認知症サポーター養成キャラバン・メイト/「傾聴ボランティア養成講座」「スキルアップ講座」「傾聴講演会」等、講師多数。その他、メディアに取材・掲載されること多数。月刊「シルバー人材センター」19/11 月号掲載

つながる傾聴ボランティアの輪～コミュニケーション上手になるには
講演会 結果報告

参加者アンケート集計

種類	会員別	性別	
		女	男
会員	24	22	2
傾聴のひろば 関係	13	9	4
一般 (行政含む)	11	8	3
合計	48名	39	9

アンケート結果

回収数	
ミミの会員	15
傾聴のひろば	8
* 未記入	15
計	38

* 数が違うのは名簿と本人の申請が違う

79%

結果意見

1. 講演について ためにならなかったか・余りたためにならなかったか

ためになった	38	100%
ならなかった		0

2. 会場やコロナウイルスに対する対策にご意見はありますか？

ある	9	24%
ない	25	66%
無記入	4	10%

本日は「コロナの影響の中ご来場いただきましてありがとうございます。
私ども「ミミの会」では講演会を開催するのは初めてでございます。不向き届きの点も
多々あると存じますが、下記に感想を書いていたいただければ今後の指針になると思ひますの
でご記入下さい。

該当するものに○をつけてください。

ミミの会員・ 傾聴のひろば会員・ 一般

1. 講演について、
ためにならなかった。()
(どんなところでしたか？)

余りたためにならなかった。
(期待したこと)

2. 会場やコロナウイルスに対する対策にご意見はありますか？
ある。()
ない。()

ありがとうございました。

1. 講演について
ためになった。 どのところ？

「ミミの会員」

- ・大きくいうことの奥深さを教えて頂きありがとうございました。
- ・「愛語」の活用が自分には足りなかったと反省です。
- ・これからの傾聴に改めて身に染みる事が参考になりました。又新鮮な気持ちで取り組みせう。
- ・話が分かりやすい。
- ・大変ためになりました。細かい所も説明あり家庭内にも応用できると痛感しました。
- ・自分が行っている傾聴の再確認ができました。事例を挙げとても分かりやすく、とても参考になりました。
- ・コミュニケーションの取り方について
- ・傾聴の意義、大切さを本当に理解して傾聴で実施する。
- ・しばらく活動できないうので、元気をもらいました。
- ・心構えとして

*傾聴とは、生きる力を支えるお手伝いをする。

*共感と受容で理解を

*相手が主人公 7：3を忘れず。

- ・学び直し、更に確認させて頂きました。感謝です。
- ・共感して具体的な返す言葉の例を、役立たせようとおもいます。
- ・傾聴の大切さ。
- ・傾聴の心構えを再確認できた、良く理解できました。
- ・お話し、とても心に染みしました。自分の傾聴への「ハンセイ」しきりです。ありがとうございます。

「傾聴のひろば会員」

- ・傾聴活動の再確認ができた。
- ・分かり易かった。
- ・傾聴の基本を改めて学ぶことができました。
- ・先生の長い経験がらのお話が興味を持つことにつながりました。
- ・傾聴の基本を改めて易しく聞いて心が洗われました。

2. 会場やコロナウイルスに対する対策にご意見はありますか？
ある

- ・ウイルス対策もしっかりしていて安心していられました。
- ・休憩時のドアや窓の開閉など配慮があつて良かった。
- ・十分できていたとおもいます。
- ・対応が大変。
- ・会場が広いので、もつと間をあけても良いのでは。
- ・傾聴者はどうしても感染するわけにはゆかないので、行動の範囲がせまくならざるを得ません。
- ・椅子同士がもう少し離れていたら、予防効果ももっと期待できるかなと思つた。
- ・自分が保護者かも知れないと常に思つて行動している。
- ・とてもよく対策されていて、参考になりました。(傾聴のひろば)

様式第 11 号 (第 13 条関係)

小田原市市民活動応援補助金事業成果報告書

事業名	小田原の風土と里山を活かした食育菜園教室事業
団体名	特定非営利活動法人子どもと生活文化協会
事業の内容	<p>4/12 花・野菜の種まき、安全ネット張り、5/7 サクランボ狩り 5/16 さつまいもなど苗植付け、6/20 秘密基地づくり・じゃがいも掘り 7/25 植物観察・ピザづくり、8/9・10 アイヌ文化ワークショップ・親子キャンプ、9/6 昆虫観察、10/24 ハロウィン&さつまいも掘り、11/29 火起こしワークショップ・焼き芋、12/12 しめかざり作り、1/24 どんど焼き、2/14 アートで遊ぼう、3/7 ジャガイモ植え付け</p> <p>場所：小田原市久野 3988 ヤッホー！子どもガーデン 参加数：ヤッホー会員 22 家族・のべ 370 名、単発参加のべ 125 名 スタッフ人数：6 名、ボランティア人数：11 名</p>
事業の成果	<p>参加者のほとんどが小田原市在住の未就学児とその親だった。その年代の親子が、上記のようなワークショップに参加し、自然の中で生活する技術や知恵を学び、助け合いながら活動することで、生きるために必要な「カン」を身に着ける第 1 歩となった。</p> <p>年間登録会員（ヤッホー会員）制度を導入し年間通じての参加を勧めたことで、地域における同世代・多世代の緩やかなつながりの場になり、参加者同士の交流が深まった。</p> <p>当団体会員で、子育て中あるいは子育てを終えた者が、この事業にボランティアとして加わり、未就学児の子育てで悩みを抱えている親とつながり、手助けする場となった。</p> <p>補助金があったことで、会費が参加しやすい価格に抑えられ、予想を遥かに超える多くの参加につながり、多彩な講師を呼ぶなど、内容も充実した。</p> <p>令和 2 年度は、コロナ禍で、子どもたちの遊びが制限されるという問題があった。当事業は、野外活動ということ、感染防止対策を十分にしたこと、安心して参加できる場になった。</p>
今後の事業展開	<p>小田原市やその周辺の多数の未就学児親子が、この活動を体験でき、その年代の子どもに必要なことが、伝えられた。今回の経験を生かして改善しながら、発展的に継続していける見通しがたった。それによって、小田原が子育て世代をはじめとした方々に、さらに住みやすい場所になることにつながるであろう。</p>





様式第12号（第13条関係）

小田原市市民活動応援補助金事業収支決算書

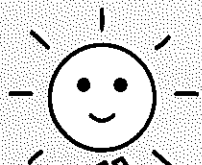
1 収入の部 (単位：円)

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
市民活動応援補助金	100,000	
参加費等より	226,848	年間会費@8,000円×22組 スポット@500円×125名 昆虫カレンダー@200円×33部
収入合計	326,848	

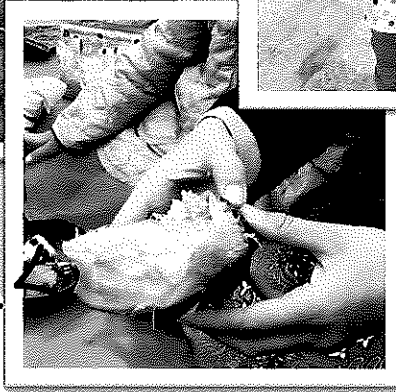
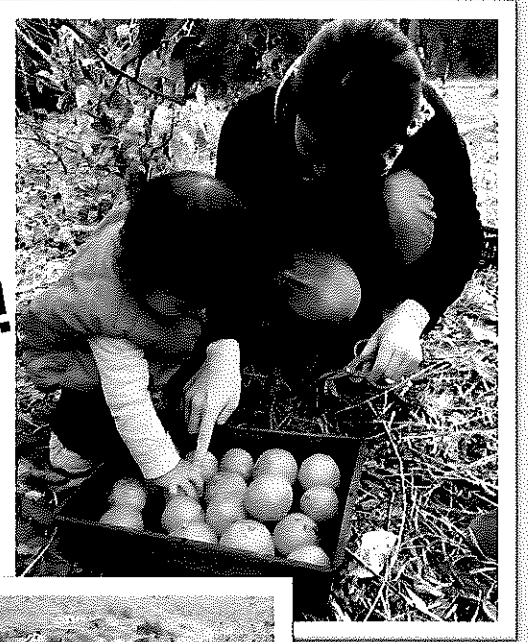
2 支出の部 (単位：円)

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
謝礼	149,520	講師謝礼 20,000円×7回、8000円×1回 振込手数料 220円×6回、100円×2回
消耗品費	86,536	肥料、種苗、収納用品、農業用資材、包装用品、 ポータブル拡声器、工用品、など
印刷製本費	6,460	チラシ 1500部
食糧費	50,436	食材 44,572円、講師弁当代 5,320円、 飲料（講師用） 544円
通信運搬費	1,596	郵便料金
保険料	15,300	8/9、8/10日帰り参加 1000円/日×2日 8/9～8/10 宿泊参加 13,300円
使用料	17,000	地代 15,000円、8/9～8/10 宏南庵使用料 2,000円
支出合計	326,848	

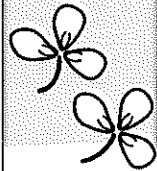
ヤッホー！ 子どもガーデン



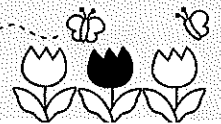
はじまるよっ！



やきいも
ほくほく



ヤッホー！



(令和2年度小田原市市民活動応援補助金交付事業)

今年の6月～来年3月まで、月1回（全10回）のイベントを開催。
ピザ作り・虫取り・秋の収穫祭などの他に昆虫・植物博士などの魅力的な先生をお招きし、年間を通して、自然に触れ学ぶことができます。
一緒に自然を学び、楽しいガーデン作りの仲間を募集しています。
未就学児～シニアまで、幅広い世代の参加をお待ちしています！

【会費】

「ヤッホー会員」
大募集！！

- ・ヤッホー会員(年間・1家族):8,000円(税込)
- ・単発参加(1回・1名):500円(税込)

♡家族で参加したい方は、ヤッホー会員がお得！



☆ ヤッホー会員特典 ☆

自然が相手なので、イベント日以外にも、ガーデンは見頃・食べ頃・遊び頃を迎えます。
ヤッホー会員限定のLINEグループで収穫時期を迎えた野菜や果物の情報を受け取ることができます！
種まきから収穫まで体験しましょう！

★お申込み方法・詳細は裏面をご覧ください⇒

スケジュール (12月~3月のスケジュールは、別途、お知らせします。)

2020/6/20 (土)	秘密基地づくり・じゃがいも掘りワークショップ
2020/7	ピザづくりワークショップ/食べられる植物調べ
2020/8	夏の親子合宿/ガーデンでキャンプファイヤー&音楽会
2020/9	ガーデンの中の虫を探して捕まえようワークショップ
2020/10	秋の収穫フェス/さつまいも掘り・バザーなど
2020/11	火おこしワークショップ・焼き芋

※天候により活動が変更になります。

◆**集合場所**: ヤッホー!子どもガーデン(小田原市久野3988)

◆**時間**: 10:00~14:00

◆**持ち物**: 軍手・タオル・お弁当・ビニール袋・レジャーシート・飲料など
(作業のできる服装でお越しください。)



【お申込み方法】

♡ヤッホー会員のお申込み♡

① 下記、いずれかにてお名前・住所・電話番号・参加人数をお知らせください。

◆ FAXでのお申込み : 0465-35-8421

◆ メールでのお申込み : clca@clca.jp

◆ 電話でのお申込み : 0465-35-8420

② 郵便振替用紙をお送りいたします。お振込みをお願いいたします。

♡単発参加のお申込み♡

① 下記、いずれかにてお名前・住所・電話番号・参加人数をお知らせください。

◆ FAXでのお申込み : 0465-35-8421

◆ メールでのお申込み : clca@clca.jp

◆ 電話でのお申込み : 0465-35-8420

② 参加費は当日お持ちください。

【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人 子どもと生活文化協会 (CLCA)

〒250-0045 小田原市城山1-6-32 Sビル2F

Tel 0465-35-8420 Fax 0465-35-8421

HP <http://www.clca.jp> e-mail clca@clca.jp

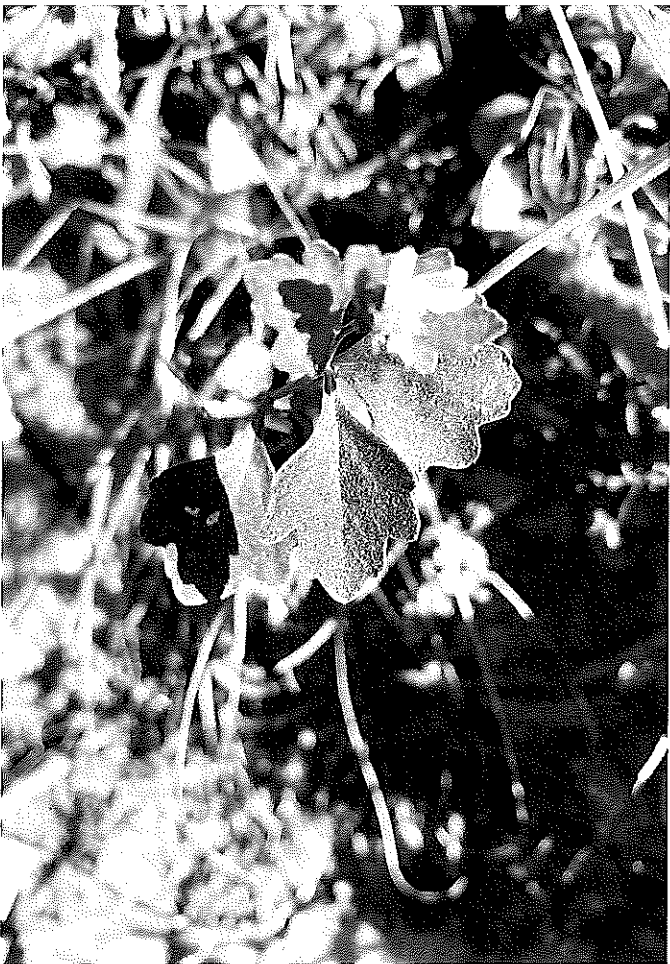
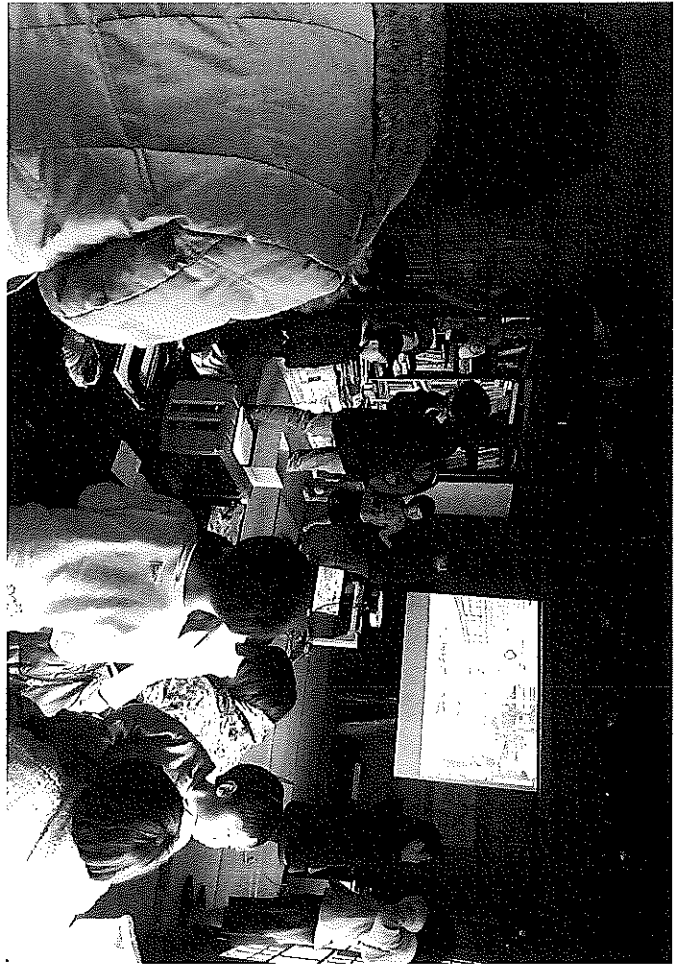
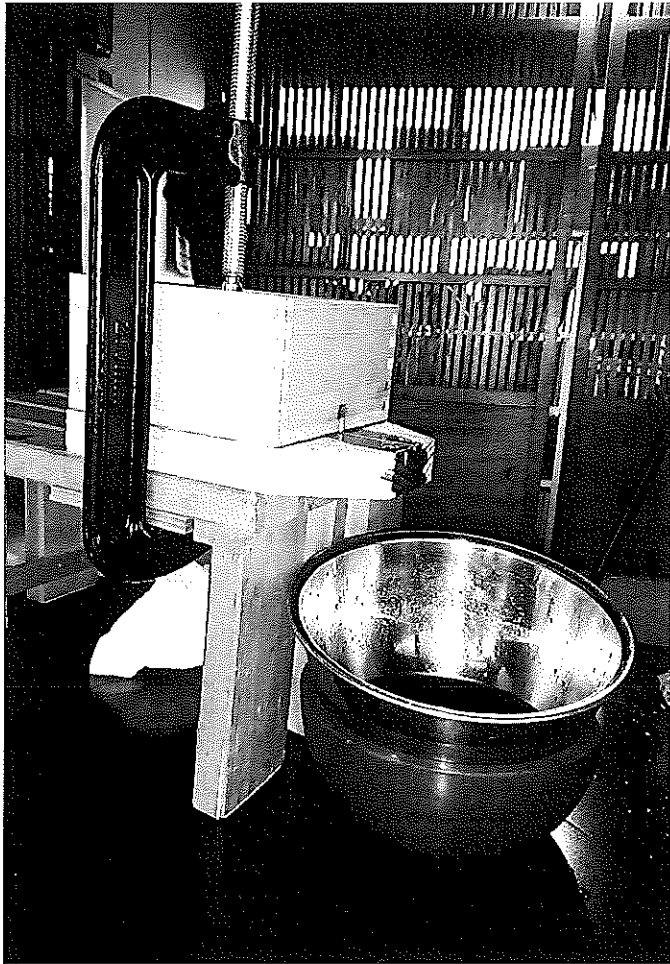
様式第 1 1 号 (第 1 3 条関係)

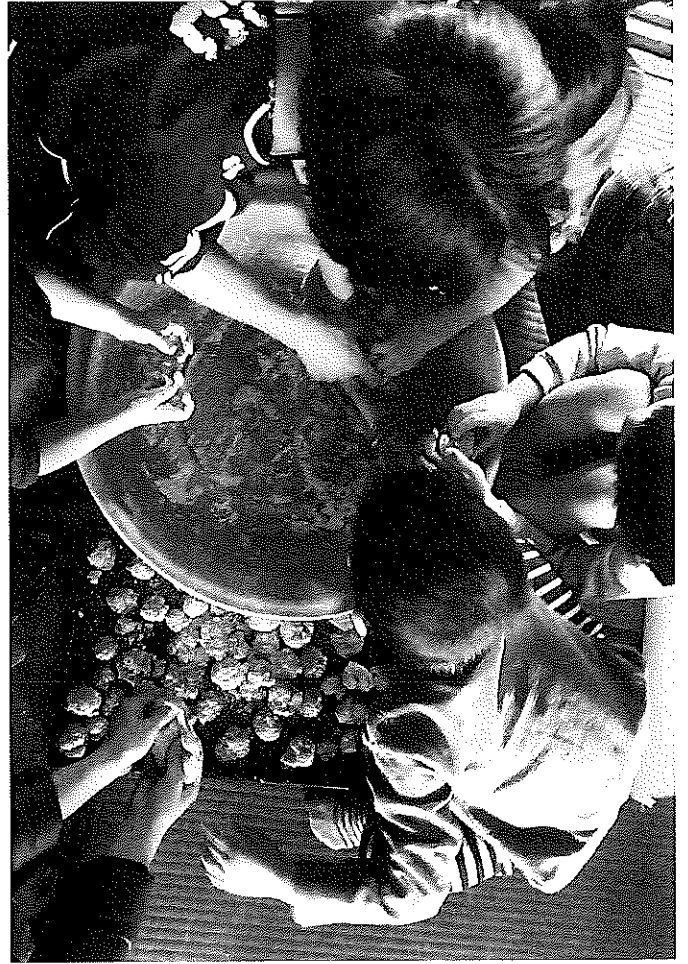
小田原市市民活動応援補助金事業成果報告書

事業名	小田原の地の利を生かした子育て支援事業
団体名	タンポポキッズ
事業の内容	<p>小田原周辺の子どもの教育に理想的な環境を生かし、子どもの健全育成を目的とする。小田原ほど自然環境、歴史環境、文学環境など子どもたちと過ごすことができる理想的な環境は類まれなものであるため、それを生かした活動を行うことで小田原の良さをたくさんの人に知ってもらおう。前年度は備品の整備、今年度は宣伝広告を力を入れ、活動内容や団体を知ってもらうことをメインとする。また、スタッフの育成にも力を入れる。専門の講師を呼び、イベント形式でスタッフも共に学ぶことで同内容を自分たちで行うことができるようにする。屋内で行う他者との関わりあう学びだけでなく、特に屋外の自然環境を利用することで五感を育む活動ができるようイベントを企画する。</p>
事業の成果	<p>今年度は 4 月当初から予想していなかったコロナ禍という事態になり、6 月までほとんどの活動を中止することになってしまった。また、表だって宣伝をすることは控えたため、予定していたポスティング事業などはせず、身近な人に渡すイベントチラシを作成、みんなで力を合わせて配っていく形をとった。また、予定していた講師の方々よりこの状況下で断られてしまったこと、会場が使用できなくなってしまったことなどによりほとんどの活動を断念、もしくは講師のいない状況下で行うことになった。会場も状況を見て、全て屋外にし、それに合わせてイベント内容も変更を余儀なくされてしまった。その中でも緊急でお願いできる講師の方々を探し、やっとのことで講師によるイベントは 2 件開催することができたという状況だった。このような状況下でも、市外より参加していただいた方もおり、タンポポキッズをきっかけで 2 件小田原市住民になってくださった方もいた。他にも新年度に越して来られる方もいる。大人と子どもがこの状況下でも楽しく過ごすことができ、子どもたくさん笑顔を見ることができた。その上で日本の伝統や小田原周辺の自然などどういったものがあるのか学ぶことができた。今年度は大人のみ参加も多く来ていただき、子どもとの交流を楽しんでいた。『活動実績』6 月 9 日「田植え」大人 8 人子ども 15 人小田原市飯田岡 8 月 23 日「火おこし体験と BBQ」大人 12 人子ども 13 人小田原市国府津 10 月 24 日「田んぼ稲刈り」大人 10 人子ども 14 人小田原市飯田岡 11 月 15 日「英語で焼き芋」大人 18 人子ども 16 人小田原市沼代 12 月 27 日「古民家で餅つき」大人 24 人子ども 19 人根本さんの個人宅 1 月 10 日「ハーブ王子と野草散策」大人 11 人子ども 10 人小田原市沼代 3 月 7 日「醤油と味噌作り」大人 17 人子ども 13 人根本さん個人宅</p>
今後の事業展開	<p>次年度は今年度できなかった広告など周知を改めて力を入れていきたいと思っている。また、スタッフ自身も学びながら、教科を超えた学びができるようなイベントをバランスよく組み立て、より力を入れていきたい。今後は NPO 法人という形態も視野にいれ、ある程度報酬を賄えるお仕事として、また、子どもも社会の一員として親子のできる仕事の体験なども行えたらと思う。子どもも大人も笑顔あふれる活動をしていきたい。</p>









様式第12号 (第13条関係)

小田原市市民活動応援補助金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

科目	金額	内訳 (数量・単価など)・備考
小田原市市民活動 応援補助金	20万円	
会費より	73,017円	
収入合計	273,017円	

2 支出の部

(単位:円)

科目	金額	内訳 (数量・単価など)・備考
①消耗品代	32,039円	野菜苗代 6,500円 ラジオコンボ 4,586円 炭,ラップ,割り箸など 2,957円 鯨 3,278円 醤油味噌作り備品 14,388円 ポンド、用紙など 330円
②広告費	66,110円	チラシ業者印刷 (株式会社グラフィック) 5,000枚 計22,910円 カラーコピー50円 ※ 860枚 計43,000円 白黒 10円 ※ 20枚 計 200円
③講師料	65,220円	1月野草講師山下智道氏 49,000円 3月醤油作り講師大谷晃子氏 16,220円
④食糧費	67,908円	肉,かぼちゃなど 20,421円 さつまいも代 6,300円 (350円 ※ 18袋) 餅米、きなこ、あんこ 16,583円 醤油麹、味噌セット 24,604円
⑤使用料	11,740円	田んぼ年間費用 9,800円 山の散策使用料 1,940円
⑥市民活動応援補 助金の返還	30,000円	
支出合計	273,017円	

子育てサークル

タンポポキッズ

小田原、その周辺地域の立地を活かした自然体験を中心に活動をしています。親子の触れ合いはもちろん、子ども同士の繋がり、ママさん達での情報共有もできちゃいます！
ご興味ある方はぜひ一度遊びにきませんか。

活動内容

●月1回（土曜日もしくは日曜日）

田植え&稲刈り



英語で焼き芋



お餅つき



1年を通して季節にあった様々な活動をしています。

会員は優先参加、会費割引の特典あり（詳しくはお問合せください）



募集

タンポポキッズでは会員&ボランティアスタッフを募集しています。子供と触れ合うことが好きな高校生、大学生、子育てにひと段落ついた先輩ママさんなどボランティアに興味がある方待ってます！

【お問合せ】 py9libabylove@gmail.com

参加者の声

• 引越してきたばかりだったが、タンポポキッズに会ったおかげでたくさん友達ができ、子育てが楽しくなった。(M.M)

• いつも質の良い有意義な時間を提供してくれて、二人だけで悶々と過ごしていた毎日だった子育てがすごく楽しいものになった。(N.S)

こちらで出会った友達のおかげで、今までなかった仲間ができて、楽しく過ごせるようになった。(K.K)

• 大人だけで参加しても楽しめる体験ができて、非常に楽しかった。いろいろな世代の人たちが一緒に楽しんで体験できるこんな機会は他にない。(K.K)

• 子どもがものすごく成長し、いろいろなことを吸収して親バカな私が賢くなったと思います。ありがたかったです。

などなど、たくさん皆さんの喜びの感想がたまりました。

タンポポキッズがきっかけで引越してこられた方、そして今後も小田原市に越してくる予定の方がいます。

様式第10号（第12条関係）

小田原市市民活動応援補助金事業成果報告書

事業名	二ホンジカ調査とアオキによる誘引捕獲試験
団体名	特定非営利活動法人小田原山盛の会
事業の内容	<p>1. シカによる林業被害・植生劣化調査・採食植物調査 今年度は釜石と二子山県有林にて引き続きカメラを設置し、ヒノキ苗の枝葉食いと樹皮食いの状況を定期的に調査した。植生劣化調査については金時山～足柄峠周辺にて調査を行なった。ササの採食が近年目立つようになり、南足柄市の檜山林道、小田原市の明星が岳稜線、宮城野林道にて調査を行なった。食圧は高まり植生劣化が進んでいる。</p> <p>2. 紅斑熱を媒介するマダニの分布調査 5～6月3回にわたって小田原市内と紅斑熱患者が発生している熱海にて実施。いこいの森でも実施しテントサイト脇でもすぐに取りれる状態であった。熱海ではヤマアラシチマダニがごく普通種のように捕れた。</p> <p>3. アオキによる誘引捕獲実証試験 くくり罠塾の捕獲地にカメラを設置し、ワナ設置前から、設置後、ワナ撤去後にアオキを刺して誘引状況を観察した。</p> <p>4. 林業被害地・捕獲地見学会 くくり罠塾と関係者をお招きし、シカの餌場となっている和留沢農地や林業被害地の見学を行った。</p>
事業の成果	<p>樹皮食い被害 数年間の継続調査により、内樹皮の糖度と水を揚げる時期のはがれやすさによって、3～4月に集中的に食べられる事が分かった。</p> <p>また二子山県有林にて、春に樹皮食い被害にあった苗を、翌3月に調べ、枯死率が高かった。生息密度が高い所では、食圧が高く、幹の一周が食べられると枯死に至る事が分かった。樹皮食いによって風雪で折れる苗が多く見られた。</p> <p>マダニの分布調査では、紅斑熱を媒介するヤマアラシチマダニが熱海では植生上に普通種のように採取された。小田原ではまだ植生上では確認していないが、いこいの森のような市民が憩う場でマダニ分布量が想像以上にあり、将来が危惧された。</p> <p>アオキによる誘引捕獲実証試験 アオキによる誘引はワナ設置初期に効果があるが、ワナを常設するとワナ自体が見破られ、シカの足が遠のく事が分かった。捕獲地4か所のカメラによって生息状況や、ワナに対する警戒心の様子を知る事ができた。</p> <p>林業被害地見学会 捕獲にかかわる方達に被害の現状と、見方を知って頂く事が出来た。和留沢は農地や耕作放棄地が広がり、シカにとって大きな餌場である事。餌場へのルートを探る事が必要である事をお伝えした。</p>
今後の事業展開	<p>新年度の事業として、芝による誘引試験を予定している。その準備として、生息密度の高い和留沢農地にロール芝を置き、種蒔きを行い、芝地の作成を開始している。移動可能な箱芝も作成予定であり、誘引試験地にカメラを設置する事で誘引時のシカの動向が分かり、捕獲対策に有用な情報が得られる。</p> <p>ミカン畑の耕作放棄地の多い早川地区の調査を実施予定。シカ・イノシシの生息状況を確認し、第2のホットスポットとなり、有害鳥獣被害で疲弊す早川、片浦地区の捕獲対策に資する情報を収集していきたい。</p>

取組状況の写真

1. シカによる林業被害・山地の植生劣化調査・採食植物調査



6. 27 宮城野林道周辺調査



7. 14 二子山県有林調査 植生調査



7. 21 二子山県有林調査 植生調査



8. 4 明星が岳調査



8. 18 檜山林道調査・ササ調査



8. 24 二子山県有林調査・誘引試験地調査



10.16 金時山、足柄峠周辺調査



10.29 釜石枝葉食い調査 二子山県有林調査



11.6 早川農地等調査



11.9 足柄峠周辺調査



12.13 釜石枝葉食い調査

2. 紅斑熱を媒介するマダニの分布調査



5. 22 風祭・猿沢林道・いこいの森調査、6. 9 熱海市周辺にて調査。6/17 いこいの森調査。

3. アオキによる誘引調査・生息状況調査



7. 7 アオキを食べにくるシカ達。7/12 くくり罠のワナが設置され、7/20、アオキを食べに来たメスジカが捕獲された。アオキを刺すと食べられるが、ワナ設置以後訪れるシカはしだいに減少したため、11月ワナを撤去。すると、カメラ前に訪れるシカが増えてきた。アオキでの誘引捕獲はワナの存在が覚えられる前に利用する事が望ましい。また、ワナを適宜移動することは、罠を覚えさせない効果がある。

4. 農林業被害地見学会



12. 6 被害地見学会 餌場となっている和留沢農地の植え込みがディアラインになっている。林業被害地の様子も見学。くくり罠塾と関係者およそ 30 名参加。

芝による誘引試験地セッティング



12. 13 芝畑種蒔き・ロール芝設置試行



1. 16 兔の採食防止のため、ネット柵設置、2. 14, 柵拡張、シカが入るようアオキ刺す。

その他カメラ自動撮影によりシカの生態を知り、生息密度上昇を確認しました。

様式第12号（第13条関係）

小田原市市民活動応援補助金事業収支決算書

1 収入の部 (単位：円)

科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
1 市民活動応援補助金	200,000	
2 会費収入	87,711	
収入合計	287,711	

2 支出の部 (単位：円)

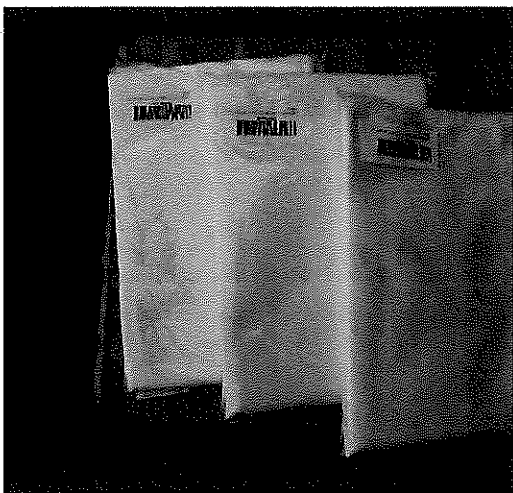
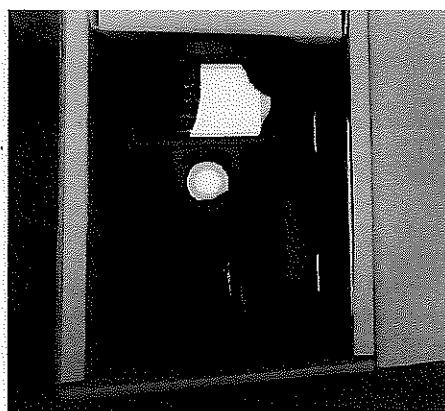
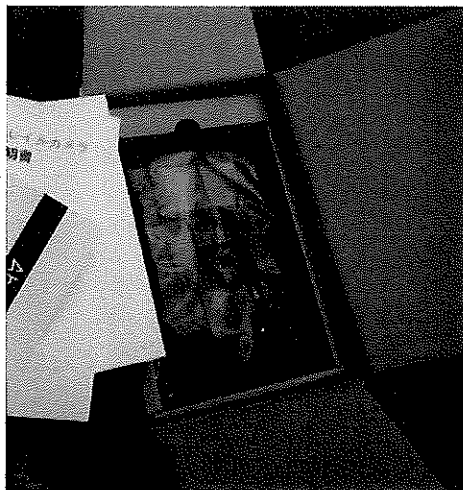
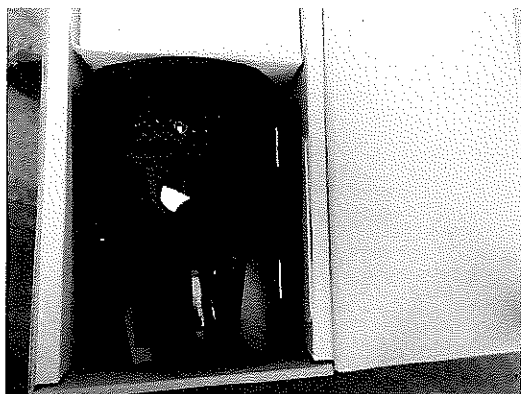
科目	金額	内訳（数量・単価など）・備考
コピー紙	2,000	
アルカリ乾電池単3形20本パック	10,249	1029×3 999×3 1029×3 1078(999×2-ポイント920)
SDカード	5,120	1280×4
ビクトールトレイルカメラ	5,680	
アバスクトレイルカメラ	8,799	
アバスクトレイルカメラ3台	26,397	8799×3
ビクトールトレイルカメラ	11,960	5980×2
アバスクトレイルカメラ	8,799	
Campark 防犯カメラトレイルカメラ※ (カメラ計)	19498 81,133	7,499 11,999
古林先生謝礼金※2	120,000	10000×12回
冊子印刷費	61,490	カラー36ページ400部
ゼブラ 油性マーカー特殊用途	1,030	206×5
ビニールテープ	999	
ダニ採取フランネル※3	2,700	900×3
送料通信費(ダニ送付ほか)	1,730	370 1360(370×3 定型外250)
コピー	1,260	180、250、210、290、120、110、100
支出合計	287,711	

※ カメラは台風や長雨等で故障が多く、8000×5台の予定であったが6台を追加した。
財源には、コロナ禍で見学会を公募にできず、執行しなかったポスト広告やチラシ経費と、同様にコロナ禍で入手できなかった遠沈管コニカルチューブの分を充てた。

※2 誘引手法及び調査範囲を拡充させるため、2回古林先生に追加でご指導いただき謝礼金は12回分の拠出となった。

※3 ダニ調査の種同定をして下さっている静岡県衛生研がコロナ化で多忙のため、本会も調査日程、人員を減らした。それに伴って、フランネルの購入枚数も減らした。

購入物品





小田原市市民提案型協働事業 実施報告書

令和3年4月30日

小田原市長様

団体名 NPO法人おだわらイノシカネット
担当課名 農政課

小田原市市民提案型協働事業を終了したので、事業実績を次のとおり報告します。

事業名	「小田原くくり罠塾」事業 ～林道奥地捕獲の試行と捕獲者育成事業～
事業実施期間	令和2年 4月 1日 ～ 令和3年 3月 31日
事業の実施概要	<p>7月5日の開講式を皮切りに、くくり罠捕獲者の育成、および林道奥地での捕獲実習を行った。塾生をおよそ4班に分け、月に2回ずつの参加により、見回り等を中心に行い、その他に各種講習会を実施し、捕獲に関わる様々な知識の学習や、見学会を開催した。</p> <p>毎週水曜日と日曜日の見回り日の他、ICT出動の当番および体制をつくり、2月からはICT出動に塾生も加わった。</p> <p>7月から1月までに31頭のシカ、イノシシを捕獲した。その過程において保定や止めさし、解体の技術を身に付けていただいた。わな猟免許を取得したメンバーによりチームを作り、現在2チームが早川の農地、耕作放棄地にて捕獲を行なっている。</p>
具体的な実施内容 (実施日・実施内容・参加者数等をご記入ください)	<p>捕獲数 31頭(シカ26頭・イノシシ5頭) 活動回数 合計96回 見回り 57回 ICT出動 28回 早川下見・設置指導 11回</p> <p>7月5日(日) 開講式 「箱根国立公園と箱根山地のシカ問題」 (環境省富士箱根伊豆国立公園管理事務所長 石川拓哉氏) 「小田原市の取り組み」 (小田原市農政課 齊藤歩氏、環境保護課 根津昌弘氏) 参加者44名(塾生21、オブザーバー3、講師1、イノシカネット8、行政11)</p> <p>7月19日(日) 講習会 「記録に役立つ知識と簡単なシカ調査」 (株)野生動物保護管理事務所 森洋佑氏) 参加者32名(塾生18、オブザーバー1、講師1、イノシカネット8、行政4)</p> <p>8月23日(日) 講習会 「神奈川県での取り組み」 (神奈川県自然環境保全課 鈴木哲平氏) 「捕獲申請・助成等の知識」 (神奈川県西地域県政総合センター環境調整課 真間悟氏、小田原市農政課 齊藤歩氏、環境保護課 根津昌弘氏)</p>

	<p>参加者 30 名(塾生 15、オブザーバー2、講師 2、イノシカネット 6、行政 5)</p> <p>9 月 27 日(日) 見学会 「国立公園箱根地域のシカ対策」見学会 (環境省富士箱根伊豆国立公園管理事務所長 千葉康人氏、(株)野生動物保護管理事務所 森洋佑氏、箱根町環境課 佐藤仁夫氏)</p> <p>参加者 29 名(塾生 14、オブザーバー1、講師 3、イノシカネット 6、行政 5)</p> <p>10 月 18 日(日) 講習会 「地域ぐるみのイノシシ対策」 (かながわ鳥獣被害対策支援センター 石黒真理子氏、JA かながわ西湘曾我支店鳥獣対策委員会 稲毛竹男氏)</p> <p>参加者 40 名(塾生 15、オブザーバー3、講師 4、イノシカネット 10、行政 5、その他 3)</p> <p>11 月 15 日(日) 講習会 「動物による感染症の知識」 & ダニ調査体験 (静岡県環境衛生科学研究所 大石沙織氏)</p> <p>参加者 30 名(塾生 15、オブザーバー2、講師 1、イノシカネット 6、行政 4、その他 2)</p> <p>12 月 6 日(日) 見学会 「農林地のシカ被害」見学会 「シカはどこで増えるのか？」 (元東京農工大森林生物保全学研究室古林賢恒氏、NPO 法人小田原山盛の会)</p> <p>参加者 32 名(塾生 14、オブザーバー1、講師 1、イノシカネット 6、山盛の会 1、行政 4、その他 5)</p> <p>3 月 28 日(日) 報告会 「小田原くくり罟塾報告会」 (塾生、イノシカネット)</p> <p>参加者 25 名(塾生 11 名、オブザーバー2、イノシカネット 7、行政 4、その他 1)</p>
添付書類	「小田原くくり罟塾」実績報告書

様式第7号（第9条関係）

小田原市市民提案型協働事業 収支決算書

(単位：円)

総事業費	1,277,743 円	市の支出	1,276,000 円
		団体の支出 (他の収入等含)	1,743 円

1 収入の部

(単位：円)

科目	金額	積算根拠 (数量・単価など)
市事業費	1,276,000	
会費より	1,743	イノシカネット会費より
収入合計	1,277,743	

2 支出の部

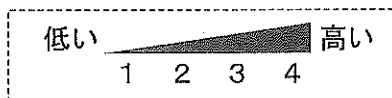
(単位：円)

科目	金額	積算根拠 (数量・単価など)
機材費	41,887	電気とめざし機 31,900 円、チョンがけ 7,007 円、螺旋杭 2,980 円
くくり罨パーツ	31,900	罨作り講習用パーツ
くくり罨	240,000	4,000 円×60 基
人件費及び車両借り上げ費	770,000	久野捕獲地選定 45,000 円、見回り等 725,000 円
ICT 通信費	70,000	久野碎石工業 (株) 10,000 円×7 ヶ月
チラシ、ポスター代	15,960	チラシ代 8,860 円、ポスター代 7,100 円
講師謝礼	38,660	森氏、稲毛氏、大石氏
単三充電池代	19,756	
コピー、プリント代	13,500	テキスト等印刷分
消耗品費	13,194	救急用品 2,963 円、容器 220 円、ポイズンリムーバー 1,590 円、封筒 220 円、ジップロック 990 円、輪ゴム 276 円、クリアホルダー 1,485 円、ペーパータオル 990 円、ゴム手袋 4,460 円
光熱水費	12,202	冷凍庫電気代 (10~1 月分)
保険料	9,100	350 円×26 名
切手代	924	84 円×11 枚
手数料	660	代引手数料
支出合計	1,277,743	

市民提案型協働事業 評価シート

事業名	「小田原くくり罾塾」事業 ～林道奥地捕獲の試行と捕獲者育成事業～
団体名	NPO法人おだわらイノシカネット
担当課名	農政課

◆個別評価（いずれかの項目にチェックしてください）



○事業目的

	団 体				担 当 課			
	1	2	3	4	1	2	3	4
事業目的を共有できましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
事業スケジュールどおりに実施できましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
経費に見合うサービスの提供（費用対効果）ができましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

○役割分担

	団 体				担 当 課			
	1	2	3	4	1	2	3	4
お互いの立場・役割を尊重して事業を進めることができましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
お互いの特性を活かすことができましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
十分な協議を行い、対等なパートナーとして実施できましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

○協働による取組

	団 体				担 当 課			
	1	2	3	4	1	2	3	4
事業実施に対する市民（受益者）の満足度は高まりましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
単独で行うよりも、相乗効果や波及効果は得られましたか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

◆成果や課題等について具体的に記入してください

	団体記載欄	担当課記載欄
協働によって生まれた成果、事業を実施して良かった点など	<p>市との協働により、曾我地区にて地域ぐるみで捕獲活動されている地元の捕獲団体や猟友会と繋がることができ、今後の捕獲活動の幅を広げることができた。</p> <p>7月から3月までに40頭のシカ、イノシシを捕獲できた。まだまだ捕獲効率は高いとは言えないものの、久野の林道奥地で展開し、40頭捕獲した実績は大きい。このような体制により、着実に捕獲数を確保できることが分かった。</p> <p>塾で経験を積んだ塾生により、早川地区にてチームでの捕獲が始まった。また、捕獲候補地について、市との協働によりスムーズに探すことができたものの、時間がなく、地権者との調整ができていない。</p>	<p>令和2年度の塾生19名のうち、半数以上の15名が狩猟免許を取得もしくは取得に意欲を示しており、中にはチームや個人による有害鳥獣捕獲を既に行っている方もいることから、捕獲者の高齢化や担い手不足という問題に寄与することができている。</p> <p>また、当事業を通じて、環境省や静岡県、箱根町、WMO、JAかながわ西湘曾我支店鳥獣対策委員会等といった鳥獣被害対策にかかる関係機関や塾生同士の繋がりを作ることができた。</p> <p>さらに、猟友会との繋がりを作ることができたことで、捕獲活動を行いやすくなった。</p>
事業を実施した上での課題や、当初の予定と変更になった点、今後の展開など	<p>コロナ禍のため講習会が延期や中止になる事があった。また、懇親会ができず、塾生との交流が十分にできなかったため、令和3年度は野外開催を増やす等工夫し、塾生の意向を把握するとともに、塾生同士の交流の機会を創出し、チーム作りへつなげていきたい。</p> <p>まずは、現在の活動場所にて着実に成果をあげ、たくさんの方々に活動内容を知っていただき、持続可能な捕獲体制を構築していきたい。</p>	<p>参加者を募集する際の対象者の明確化ができていなかったり、運営にかかる双方の負担がかなり大きかったりと、初年度ということもあり、事業を行っていく上でその都度対応することが多かった。</p> <p>令和3年度については、昨年度の反省点を生かし、より事前準備に注力し、対応できる範囲での企画・運営を行う等、計画性を持った事業展開を促していきたい。</p>
その他 (本制度の仕組みなど、上記以外について)	<p>より持続可能な捕獲体制を構築するため、本会の互助体制の拡充を検討している。</p>	<p>今後に向けた団体の更なる自立体制の構築を進めていきたい。</p>

◆総合評価（A～Dのいずれかを記入してください）

市民提案型協働事業としての目的を達成できましたか。個別評価、成果や課題等を踏まえて記入してください。

総合評価	B
------	---

A：十分達成できた

B：課題は残ったが概ね達成できた

C：あまり達成できなかった

D：ほとんど達成できなかった

◆市民提案型協働事業の制度による事業期間終了後、現在の事業はどのように展開される予定ですか

協定・契約等による事業継続

団体が単独で実施

行政が単独で実施

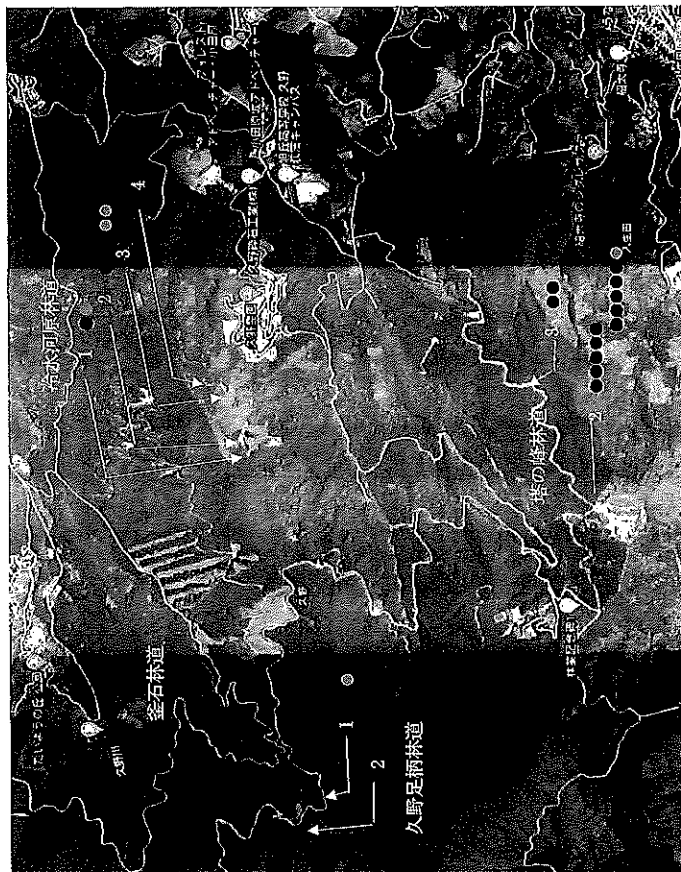
休止または終了

その他（今後の活動状況も踏まえ、猟友会等とも連携しながら検討していきたい。）

表-1 くくり農塾におけるシカ・イノシシ捕獲実績 2020年7月～2021年1月
捕獲数: シカ 26頭(内メス11、オス15) 猪5頭(メス4、オス1)

目付	エリア	No.	種	性	角	kg	IC	手法	備考
1	7.16 冷水1	17	猪	♀		50	ICT	電気	小田原ジビエ搬入
2	7.21 冷水4	18	シカ	♀		38	ICT	頭打	小田原ジビエ搬入
3	8.1 冷水3	14	シカ	♂	4	80	ICT	死埋	穂田土場埋設
4	8.8 塔ノ峰2	1	シカ	♂	4	90	ICT	電気	小田原ジビエ搬入
5	8.16 塔ノ峰2	2	シカ	♂	4	100	見	死埋	日曜日塾見回り発見
6	9.3 塔ノ峰2	3	シカ	♀		45	ICT	頭打	小田原ジビエ搬入
7	9.15 塔ノ峰2	2	シカ	♀		25	ICT	電気	小田原ジビエ搬入
8	9.22 塔ノ峰3	26	シカ	♂	幼	32	見	頭打	森林組合通報、穂田如本、小田原ジビエ搬入
9	9.23 塔ノ峰2	28	猪	♀		45	見	電気	水曜日塾見回り発見 解体
10	9.24 塔ノ峰2	4	シカ	♂	4小	60	ICT	電気	小田原ジビエ搬入
11	9.29 冷水3	14	シカ	♀		50	ICT	死埋	穂田土場に埋設
12	9.30 冷水3	14	シカ	♂	幼	28	ICT	電気	水曜日塾見回り日 解体
13	10.3 塔ノ峰2	4	シカ	♂	4	80	ICT	電気	小田原ジビエ搬入
14	10.10 冷水2	21	シカ	♂	1		ICT	頭打	小田原ジビエ搬入
15	塔ノ峰2	3	シカ	♂	4	80		銃	森(銃) 寄解体施設搬入
16	塔ノ峰2	4	シカ	♂	1	30	出射	頭打	寄解体施設搬入
17	塔ノ峰2	4	シカ	♀		20	嗅	頭打	小田原ジビエ搬入
18	10.11 冷水1	17	シカ	♀		40	見	死埋	日曜日塾見回り発見
19	10.16 冷水2	10	シカ	♂	4小	60	ICT	電気	小田原ジビエ搬入
20	10.18 塔ノ峰2	2	シカ	♂	1	45	見	死埋	日曜日塾見回り発見 解体
21	冷水4	19	シカ	♂	1	45		頭打	
22	11.11 久野足1	1	シカ	♂	幼	30	ICT	電気	水曜日塾見回り日 解体
23	11.20 冷水2	21	猪	♀		25	ICT	頭打	腹出し皮はぎ冷凍
24	12.2 塔ノ峰3	26	シカ	♀		40	見	電気	水曜日塾見回り日発見 解体
25	12.3 塔ノ峰2	28	シカ	♀		45	ICT	頭打	塾生呼び解体
26	12.6 冷水2	28	猪	♂		27	見	頭打	日曜日塾見回り発見 解体
27	12.12 久野足1	1	猪	♀		60	ICT	電気	塾生を呼び解体
28	1.3 久野足2	9	シカ	♂	4	65	見	死埋	水曜日塾見回り発見
29	1.17 久野足1	1	シカ	♀		45	見	電気	日曜日塾見回り発見 解体
30	1.20 冷水1	17	シカ	♀		35	見	頭打	水曜日塾見回り発見
31	1.31 冷水2	16	シカ	♀		50	ICT	死埋	胎児あり 穂田土場に埋設

令和2年度小田原市市民提案型協働事業
「小田原くくり農塾」実績報告書



捕獲位置図 赤丸●はシカ1頭 黄●はイノシシ1頭

1. 捕獲実績

2020年度小田原市市民提案型協働事業「小田原くくり農塾」は、捕獲技術を学び、小田原市周辺で実践を目指す若男女おおよそ20名によって実施された。7月5日開講式以後、数回にわたり久野の冷水河原林道4エリア、塔ノ峰林道3エリアを実習の場とし、おおよそ60基の跡ね上げ式くくり罠を設置した。捕獲高の懸念があり、11月に冷水河原林道の2エリアを撤去し、久野足植林道2、釜石林道1エリアに増設を行ない、捕獲効果のため多少の移動を行ないつつ、現在おおよそ約90基のくくり罠が稼働中である。

水曜日と日曜日は講師の指導による塾生の見まわり日とし、間の日は見回り労働軽減のため、ICT通信機器を利用し、中継地点(久野磐石1・廣川登氏1)2か所より通報を受け、講師2名が出動して捕獲した。

7月中旬から翌1月31日までの7か月間に、シカ26頭、イノシシ5頭、合計31頭を捕獲した。止めさし方法は、電気、頭部打撃、ナイフによる放血を組み合わせ、出来る限り各方法を一人一人に体験していただいた。期間中、雨天や足場の悪さから、電気が使えず、4尖のオスシカ一回のみ、銃による止めさしを行なった。以下に本事業の捕獲実績、見回り及びICT出動の状況、塾生の動向を表1～10で示す。



イノシシ捕獲

シカ捕獲

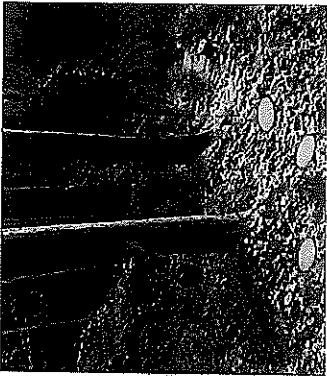
ワナ設置

表-2 シカ月別捕獲数計26頭(メス11 オス15)

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	小計	計							
エリア	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀							
塔ノ峰1									12							
塔ノ峰2		2	2	1	3			4	6							
塔ノ峰3			1			1		1	2							
冷水1				1			1	2	2							
冷水2				2		1		1	2							
冷水3	1	1	1		11/8以降撤去			1	3							
冷水4	1			1				1	2							
	11/8以降新設								3							
	久野足1								1							
	久野足2								1							
	釜石								1							
小計	1	1	0	3	3	2	6	0	1	2	0	3	1	11	15	26
合計	2	3	6	8	1	2	4	26								

表-3 イノシシ月別捕獲数計5頭(メス4 オス1) 回りに及びICT 出動の状況

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	
エリア	♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂	
塔ノ峰1									
塔ノ峰2									
塔ノ峰3									
冷水1									
冷水2									
冷水3									
冷水4									
久野足1									
久野足2									
釜石									
小計	1	0	3	3	2	6	0	1	11
合計	1	0	1	1	2	4	0	5	



ICT 通信子機と設置イメージ図



捕獲されたシカの支点木に設置されている子機

表-4 ICT 出動日に捕獲した回数と捕獲頭数、平均捕獲頭数

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	平均
ICT 出動回数	4	3	9	3	1	6	2	28	回
通報箇所合計	4	3	10	3	1	8	2	31	箇所
出動時捕獲回数	2	2	4	3	1	2	1	15	28回
捕獲数	2	2	4	4	1	2	1	16	28頭
誤作動	2	1	5	0	0	6	0	14	回
捕獲平均頭数/出動回数	0.5	0.7	0.4	1.3	1.0	0.3	0.5	0.57	頭

本事業ではワナ2~3個に対し一基のICT通信子機を設置し、時期により変動があるが、合計20~30基の子機を使用している。捕獲は通報による出動28回中16回、総出動回数の54%で捕獲があり、一回の出動での捕獲頭数は0.57頭となった。しかし、期間中14回の誤作動があり、原因は、不明、風、動物の接触、空弾さ、人為ミスの順に多く、シカの動きの激しい繁殖期や、12月の強風期が多かった。人為ミスは不慣れた事業開始初期に比較的多かった。

ICT通信の通報の仕組みは、捕獲個体の稼働範囲に1m程度の余裕を利し、捕獲時、動物が暴れると、棒とその先に紐で結ばれているマグネットが外れ、通報が行く仕組みになっている。設置時の棒の位置が適切か、周囲の枝葉が風で接触しないか、確認の必要がある。

表-5 ICT 通報誤作動の回数と原因(水曜日見回り日含むため、表-5より誤作動回数が増えている)

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	%
空弾さ			1		1	1		3	14.3
リード線動物接触	1		2					3	14.3
人為ミス	1		1					2	9.5
風・落枝			1			3	1	5	23.8
不明		1	2	2	1	2		8	38.1
合計	2	1	7	2	2	6	1	21	
月別誤作動率 %	7.7	3.9	27.0	7.7	7.7	23.1	3.9		

表-6 見回り日に塾捕獲地で実施した実習回数と塾外実習回数 (日は久野砕石お休み)

月	7月※	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計(%)
見回り講習回数	6	9	9	8	9	9	7	57
塾捕獲地実習回数	0	1	2	2	1	2	3	11(19.3)
塾外実習回数	1	1	2	3	3	2	1	13(22.8)
捕獲実習のべ回数	1	2	4	5	4	4	4	24(42.1)
捕獲実習確率 %	16.7	22.2	44.4	62.5	44.4	44.4	57.1	42.1

※7月5日開講式、7/12ワナ設置、7/18見回り開始。雨天中止7/8、12/30、1/24 講師のみで見回り12/31

本々くり罠塾は水曜日、日曜日を見回りとし、ICT通信を併用して実施した。日曜日は親機がある久野砕石が休日で連絡が無い。ふいに捕獲個体と出くわすことがあり、水曜日は特に接触せずに捕獲された個体や、機器の不具合によって通報にも関わらず捕獲個体に出くわすことがあった。

捕獲止めだしては塾生にとって最も重要な体験となる。見回り日は期間中57回あり、内、塾生が塾捕獲地で捕獲体験できた日は19.3%の11回であった。十分とは言えないため、当日捕獲のあったイノシシネットワークメンバーの捕獲地に向くことが期間中13回あり、のべ24回の捕獲実習を行った。

2. 塾生の免許習得と活動の方向性

くくり罠塾参加者は、申し込み時22名、3月現在19名となっている。捕獲経験の有無については、経験者が4名、未経験者が15名であった。3月現在、塾やチーム、個人の捕獲活動に携わる方が15名となっている。くくり罠塾では活動の継続に有効な捕獲チームの活動を推奨しており、2月より2チームが早川の農地、耕作放棄地で捕獲を開始し、1チームが6月開始予定である。個人での捕獲は捕獲経験のある女性1名が箱根町と小田原市内にて単独で捕獲を行なっている。また今回は、捕獲に関心の高い森林組合や行政関係者等5名のオブザーバー参加を得て、内1名が今年度ワナ免許を習得し、今後習得予定の方が2名いる。

年度中の11月にNPO法人おだわらイノシシネットワークは認定鳥獣捕獲等事業者として異知事の認定を受けため、塾生の中から参加可能な6名が従事者登録の申請を行っている。

表-7 塾生19名の免許習得状況 ※2020年度免許試験はコロナの影響で抽選となった。

習得済み5名	今年度習得8名		来年度予定3名		未定	合計
	一種のみ	ワナ	合格	抽選もれ※		
2	1	2	8	3	4	20 (1名試験)

表-8 オブザーバー5名 ワナ免許習得状況

習得済み	今年度合格	来年度習得	未定	合計
1	1	2	1	5



Aチーム イノシシ戻くり保定



Bチーム ミカンの木に設置しイノシシ捕獲

表-9 塾生の活動状況 3チーム (2021.3月24日現在)

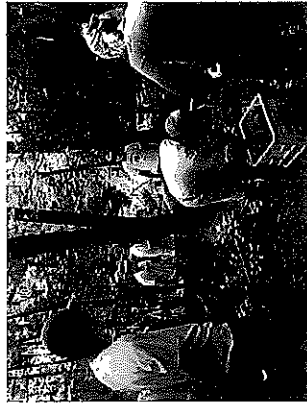
参加者	早川Aチーム2/24~	早川Bチーム2/7~	早川Cチーム6月予定
捕獲地	吉開・蓮下・平元 1(農地)	佐々木・小澤(+鳥子)・(川崎) 4(農地・竹杉林)	京増・高藤征 予定(林地)
くくり罠数	11基	27基	予定20基
その他	箱根1基・ICT通信利用		ICT通信利用の予定
捕獲数	3頭(シカ2、イノシシ1)	1頭(イノシシ1)	
備考	捕獲時ICT出動者に連絡。 都合がつけばチームメン バーがとめざし。	一部のエリアで、地権者の 見まわりが得られている。	

4. くくり罠塾の成果と課題

本々くり罠塾は生息密度が上昇して疲弊する農林業や森林生態系回復のため、捕獲効率の高いくくり罠によって捕獲技術者の育成を行う事業である。しかし春にくくり罠捕獲の教本はなく、半年以上に及び講習は試行錯誤の連続であった。しかし関係者の努力によって、技術面や体制づくりが繰り返され、結果的に地域に貢献する新たな試みとなりつつある。

捕獲地は、利便の悪さからくくり罠捕獲が行われていない山地でのシカ生息密度低下を狙い、鍵のかつた林道奥地で行われた。塾生の申し込みが想像以上にあり、開始時5班、後に4班を水曜日と日曜日に振り分け、各自月2回参加でスタートした。見回りの日の朝は8:30に役所PIに集合し、講師2名の車に塾生4~5名を乗せ、冷水河原林道、岩の峰林道にかけた60のワナ(後に増設)の見回りに行き、捕獲があると解本を行い、ない日は冷凍個体の解本や、ワナづくりを行い、午後2時前後の解散となった。

人数が多くなりくいのか、罠の設置を行うと動物の足が遠のいた。予備調査として、開始1カ月前から4か所に小田原山盛の会がセンサーカメラを設置し、生息状況の確認を行なった。生息密度が高いと噂されたエリアに、実際にワナを掛けるとカメラに映るシカの数が激減し、最初の1~2カ月は捕獲率の低い状況が続いた。一方で空弾きが多かったため、原因を検討し、技術面や、罠の構造面での改善を行い、次第に捕



7月 ワナの設置講習

獲につながっていた。

シカの繁殖期になると一日4頭捕獲の日もあり、活気づいた。しかし、ワナの設置から時間が経過し、動きが鈍いワナが始めたため、作動点検を開始し、ワイヤーの素材をすべてステンレスに交換した。

ワナ作りの際にも実験を行い、ワイヤーやスプリングのサビや状態、ワナの脱ね上げ部分の構造の違いにより、括る高さやスピードが違ってくることを確認し、ワナの改良を行った。

更に捕獲効率や利便を図る様々な工夫や努力が行われた。本事業の特徴は、大人数の参加、人工物であるICT機器の設置、一か所複数のワナの設置など、動物に気配を悟られる要因が多く、捕獲効率は必ずしも良いとは言えない。しかし捕獲状況を見て、随時新たな捕獲地の選定、新設、移動を行った結果、1月未までに31頭の捕獲成果を上げる事が出来た。

本会は捕獲の互助組織として結成し、まだ3年の若い会であるが、チームで見回りや止めさしを助け合うスタイルで実施し、昨年度111頭、今年度144頭と、年間100頭を超える成果を上げている。2月からは免許を習得した塾生を中心にチームを編成し、イノシシ被害やシカの侵入で疲弊している早川地区の農地や耕作放棄地で捕獲を開始した。

捕獲時はチーム員が都合のつかない時でも、ICT出動のメンバーが対応したり、都合のつく会メンバーが止めさしを代行するなど、臨機応変の体制となっている。このような形は当初から想定していたものではないが、担い手の拡充とともに整備されて来たものである。



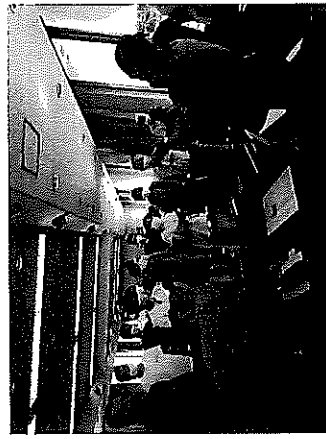
3月一戦終えて…。

5. ぐくり農塾のその他の講習

本事業では現場実習の他に期間中3回の見学会と、4回の座学が実施された。見学会は①環境省及び野生動物保護管理事務所により、箱根地域の三山や仙石原の被害地を紹介した。②地域ぐるみのイノシシ対策を行っている菅我地域の取り組みを、稲毛竹男氏の講義と案内により実施。同日、獣害センター石黒真理子氏によるイノシシ対策と地域ぐるみ対策の講義を頂いた。③シカの農林被害について、NPO法人小田原山盛の会及び、シカ専門家の古林賢恒氏によりご講義と、餌場となっている久野和留沢地区の見学会を実施した。

4回の座学については、①環境省箱根事務所所長石川拓哉氏による箱根山地のシカ対策について。②野生動物保護管理事務所所長井佐氏により、調査で知る動物の生態や記録、計測方法について。③小田原市職員による助成の知識と許可。及び市、県による、捕獲申請の知識。神奈川県環境保全課の鈴木哲平氏によるシカ対策の取り組みなど。④静岡県衛生研の大石沙織氏により、マダニや感染症対策のご講義を頂いた。

7月 野生動物保護管理事務所講習会



今回の事業は、小田原市市民提案型協働事業として市と協定を結び、多くのご支援を頂いたご支援をいただきながら開催した。小田原市農政課には、講習会の下準備や広報、打合せ全般、および懇話会との調整に御尽力頂いた。環境保護課には、捕獲を開始するメンバーや会員の捕獲申請等で、会の負担軽減を図って頂いた。地域政策課は助成先として主に資金面のご支援を頂いた。環境政策課には、小田原市が1日体験者受け入れのセット

ディングや、オブザーバー参加を頂いた。また、小田原市森林組合、県有林経営課、分収林課、林道課には、地権関係や林道通行の許認可で大変御世話になった。歴学では各方面の専門家にご講義の一部を担っていただき、箱根町にもご協力いただき講習を行なった。小田原市協働事業として、多くのご支援、ご尽力をいただき、本事業の目的である捕獲者育成と、ぐくり農による捕獲体制確立について、たくさんの知見と成果を得る事が出来た。関係の皆様へ深く感謝を申し上げます。



12月 農林業被害見学会

現在、箱根山地はシカ生息密度の爆発的上昇が起っており、本事業は多少なりとも対策強化につながる働きを担うことが出来た。市南部に広がる元ミカン畑を中心とした農地、耕作放棄地でのイノシシ被害、対策にもこの事業で一歩を踏み出すことが出来た。捕獲者の育成が捕獲体制の拡充につながりつつある。

来年度も第2期のぐくり農塾の一層の保全につながるべく、支援体制づくりを更に整備し、この活動が箱根山地の保全につながるべくより努力していきたい。



小田原市市民提案型協働事業 実施報告書

令和3年 4月 2日

小田原市長様

団体名 すっきり暮らす研究会

担当課名 高齢介護課

(令和3年4月1日から健康づくり課)

小田原市市民提案型協働事業を終了したので、事業実績を次のとおり報告します。

事業名	高齢期の知っとくいきいき講座 (介護予防普及啓発事業)
事業実施期間	令和2年 7月 1日 ~ 令和3年 3月 31日
事業の実施概要	高齢者が住みなれた我が家でできる限り安心して暮らし続けるために、介護予防 (転倒予防) の周知を目的とした「高齢期の知っとくいきいき講座 (介護予防普及啓発事業)」を、第1部「転倒予防のための整理収納と室内整備」、第2部「ロコモを知って転倒しない身体を作ろう!」の2部構成で5回実施した。市民65歳以上を対象に各回11名~31名募集し、全受講者数は66人であった。講座後のアンケート結果では、介護予防 (転倒予防) の理解度、関心度がほぼ全員から得られ、参加満足度も100%であった。また、転倒予防対策 (整理収納や室内整備) の取り組みを早々に実施したい、ロコモ運動メニューも行なって行きたいとの感想も多く、協働事業の成果目標を十分に達成できた。
具体的な実施内容 (実施日・実施内容・参加者数等をご記入ください)	<p>①当団体内・行政・外部講師との打合せ (会場・開催日時決定、広報及び募集内容決め、各会場割振り、講座内容の打合せと確認、各連絡等、最終成果確認と纏め) 令和2年4月22日~令和3年3月31日</p> <p>②講座スライド及びチラシ作成 令和2年6月1日~令和2年12月25日</p> <p>③「高齢期の知っとくいきいき講座」5回開催 ※6回目・7回目は緊急事態宣言発令に伴い中止</p> <p>1回目 令和2年8月26日 市民交流センターUMECO (参加者数 市:1人 団体:3人 外部講師1名 受講者:13名)</p> <p>2回目 令和2年9月16日 城北タウンセンターいずみ (参加者数 市:1人 団体:3人 外部講師1名 受講者:18名)</p> <p>3回目 令和2年10月21日 梅の里センター (参加者数 市:1人 団体:2人 外部講師1名 受講者:7名)</p> <p>4回目 令和2年11月18日 橘タウンセンターこゆるぎ (参加者数 市:1人 団体:3人 外部講師1名 受講者:15名)</p> <p>5回目 令和2年12月9日 川東タウンセンターマロニエ (参加者数 市:1人 団体:3人 外部講師1名 受講者:13名)</p> <p>⑤アンケート集計とまとめ 令和2年8月27日~令和3年3月31日</p>
添付書類	<p>1. 市民提案型協働事業 評価シート</p> <p>2. 市民提案型協働事業 収支決算書</p> <p>3. 市民提案型協働事業 アンケート集計結果報告書</p> <p>4. 市民提案型協働事業 参考資料</p>

様式第7号（第9条関係）

小田原市市民提案型協働事業 収支決算書

(単位：円)

総事業費	156,176	市の支出	150,995
		団体の支出 (他の収入等含)	5,181

1 収入の部

(単位：円)

科目	金額	積算根拠 (数量・単価など)
団体資金	5,181	年会費収入
寄付金収入	0	
参加費負担	0	
小田原市負担金	150,995	
収入合計	156,176	

2 支出の部

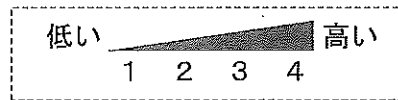
(単位：円)

科目	金額	積算根拠 (数量・単価など)
1. 人件費		
1.1 講座準備	21,000	チラシ作成@3,000×1人×7ヶ所
1.2 講座原稿作成	18,000	スライド作成@3,000×1人×6日
1.3 会場準備、片付け	7,000	団体会員@500×14人
1.4 講座	12,000	団体会員@1,200×1人×2h×5回
1.5 アンケートまとめ作業	10,000	団体会員@1,000×2人×5回
2. 報償費		
2.1 講師謝礼	55,000	ロコモ講座@11,000×5回
3. 交通費		
3.1 会員	18,200	市内一律@1,300円×14人
4. 消耗品他費	14,976	A3 カラー用紙(4500枚) 14,112円 A4 カラー用紙(500枚) 844円 市から届いた郵便の不足切手代 20円
支出合計	156,176	

市民提案型協働事業 評価シート

事業名	高齢期の知っとくいきいき講座（介護予防普及啓発事業）
団体名	すっきり暮らす研究会
担当課名	高齢介護課（令和3年4月1日から健康づくり課）

◆個別評価（いずれかの項目にチェックしてください）



○事業目的

	団 体				担 当 課			
事業目的を共有できましたか。	1	2	3	4	1	2	3	4
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
事業スケジュールどおりに実施できましたか。	1	2	3	4	1	2	3	4
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
経費に見合うサービスの提供（費用対効果）ができましたか。	1	2	3	4	1	2	3	4
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

○役割分担

	団 体				担 当 課			
お互いの立場・役割を尊重して事業を進めることができましたか。	1	2	3	4	1	2	3	4
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
お互いの特性を活かすことができましたか。	1	2	3	4	1	2	3	4
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
十分な協議を行い、対等なパートナーとして実施できましたか。	1	2	3	4	1	2	3	4
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

○協働による取組

	団 体				担 当 課			
事業実施に対する市民（受益者）の満足度は高まりましたか。	1	2	3	4	1	2	3	4
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
単独で行うよりも、相乗効果や波及効果は得られましたか。	1	2	3	4	1	2	3	4
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

◆成果や課題等について具体的に記入してください

	団体記載欄	担当課記載欄
協働によって生まれた成果、事業を実施して良かった点など	<ul style="list-style-type: none"> ・協働事業の成果目標を概ね達成 ①2つの講座を通じて介護予防普及啓発支援を達成できた。 ②市内各地域の交流の場の提供増加（各地区5ヶ所、受講者延べ66人） ③講座による市民への介護予防（転倒予防）の理解度・関心度向上（目標70%→100%達成） ④自治会回覧で多くの地域住民に事業内容を通知できた。 ・行政と外部講師との協働事業により、市民に転倒予防対策の情報提供ができたことが大変良かった。また、外部講師との連携が持てたことも良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 「転倒予防」をテーマに、元気なうちからの介護予防に対する意識づけや行動変容を図ることができた。 ② 参加者アンケートの結果からも、参加者の理解度や取組意欲、満足度が高い講座であり、介護予防の普及啓発につながったことがわかる。 ③ 転倒予防のための室内整備と運動について、自宅ですぐに取り組みめる具体的な方法の提案があり、実践的な講座であった。 ④ 専門職の講師による室内整備と身体づくりの内容を組み合わせることで、より充実した豊富な情報が提供できた。
事業を実施した上での課題や、当初の予定と変更になった点、今後の展開など	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中での講座開催のため、募集人数を各会場1/3に変更、さらに緊急事態宣言発令に伴い、6回目・7回目は中止となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ① コロナ禍のため各回の募集人数を縮小し、緊急事態宣言中の講座は中止とした。 ② 参加者の満足度等が高く、介護予防の普及啓発につながる良い講座であるため、成果を踏まえ、令和3年度以降も引き続き、団体の協力を得ながら市主催の事業として実施をしていきたいと考えている。
その他 (本制度の仕組みなど、上記以外について)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での開催のため、会場の座席配置や換気及び消毒などの感染予防対策が大変であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底しながら実施した。

◆総合評価（A～Dのいずれかを記入してください）

市民提案型協働事業としての目的を達成できましたか。個別評価、成果や課題等を踏まえて記入してください。

総合評価	A
------	---

A：十分達成できた

B：課題は残ったが概ね達成できた

C：あまり達成できなかった

D：ほとんど達成できなかった

◆市民提案型協働事業の制度による事業期間終了後、現在の事業はどのように展開される予定ですか

協定・契約等による事業継続

団体が単独で実施

行政が単独で実施

休止または終了

その他（市民提案型協働事業としての事業は終了するが、今後は協定や契約ではなく、個別に協議の上で講師を依頼し謝礼を支払う形で、市主催事業として講座を開催していきたい。）

令和3年 4月 2日

団体名 すつきり暮らし研究会
 担当課名 高齢介護課
 (令和3年4月18日から健康づくり課)

【 高齢期の知っとくいきいき講座チラシ 】

【 高齢期の知っとくいきいき講座 】

転倒予防のための整理収納と室内整備
 ロコモを知って転倒しない身体を作ろう!

【 日程 】 令和2年 8月 26日 (水) 14:00～16:00 (受付開始 13:30～)

【 会場 】 市民交流センター-UMECC 会議室 1-2

【 講師 】 転倒予防専門家
 二宮 幸子 先生 (NPO法人 高齢者福祉センター 代表理事)

【 2部 】 ロコモを知って転倒しない身体を作ろう!
 講師: (財)日本ロコモーションセンター 理事 藤本 智子

【 申込 】 市民提案型協働事業の枠内 24名 (定員満員)

【 申込先 】 7月19日(月)迄まで受付 電話 0465 (33) 1826

【 申込先 】 小田原市高齢介護課

【 講座当日の配付資料 】

高齢期の知っとくいきいき講座

転倒予防のための整理収納と室内整備

1. 整理収納のポイント

2. 整理収納のポイント

3. 整理収納のポイント

4. 整理収納のポイント

5. 整理収納のポイント

6. 整理収納のポイント

令和3年 4月 2日

団体名 すつきり暮らし研究会
 担当課名 高齢介護課
 (令和3年4月18日から健康づくり課)

【 事業名 】 高齢期の知っとくいきいき講座 (介護予防普及啓発事業)

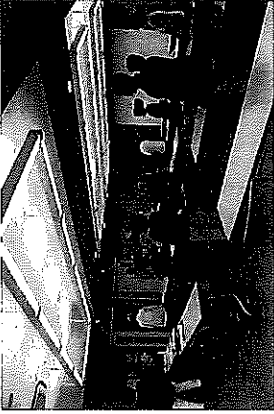
【 講座名 】 第1部 『 転倒予防のための整理収納と室内整備 』
 第2部 『 ロコモを知って転倒しない身体を作ろう! 』

【 講座実施日と会場及び講座(第1部・第2部)風景 】

◇第1回 2020年8月26日 14時～16時 会場: 市民交流センター-UMECC 会議室 1・2



◇第2回 2020年9月16日 14時～16時 会場: 城北タウンセンター-はずみ ホールA・B



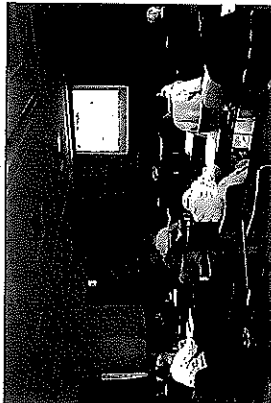
◇第3回 2020年10月21日 14時～16時 会場: 梅の里センター 会議室A・B



◇第4回 2020年11月18日 14時～16時 会場：稲塔ウイングセンターこゆるぎ ホールA・B

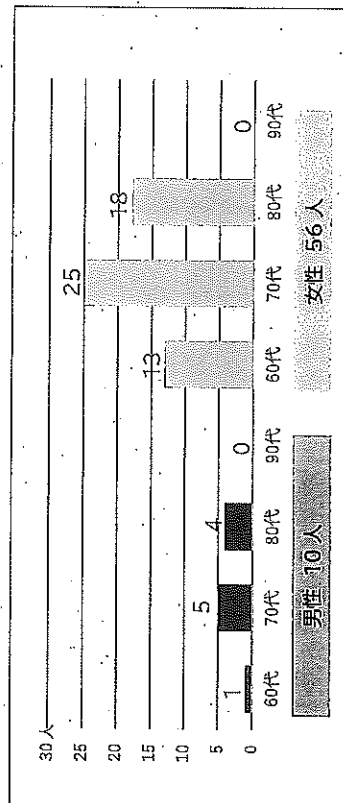


◇第5回 2020年12月9日 14時～16時 会場：川東タウンセンターマロニエ 集会室 202



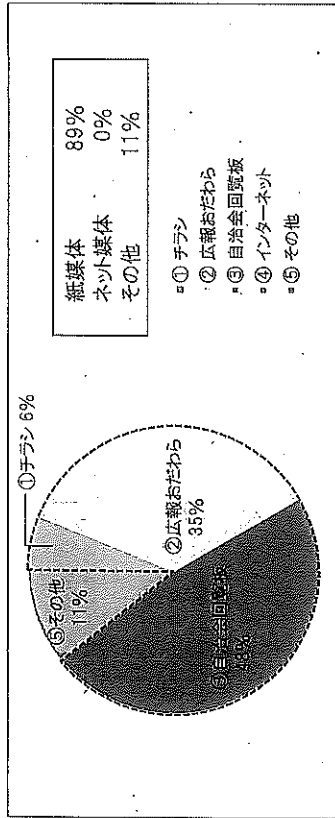
【 受講人数及び男女年代別割合 】

- ◇ 会場募集人数：107人
- ◇ 全体講座申込数：74人 うち受講者数：66人
- ◇ 男女年代別受講者割合

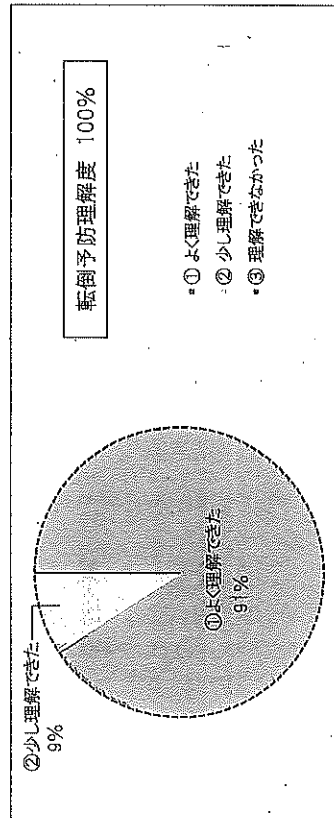


【 アンケート集計結果 】 (受講者 66名中アンケート回答者 65名 ※一部不参加者あり)

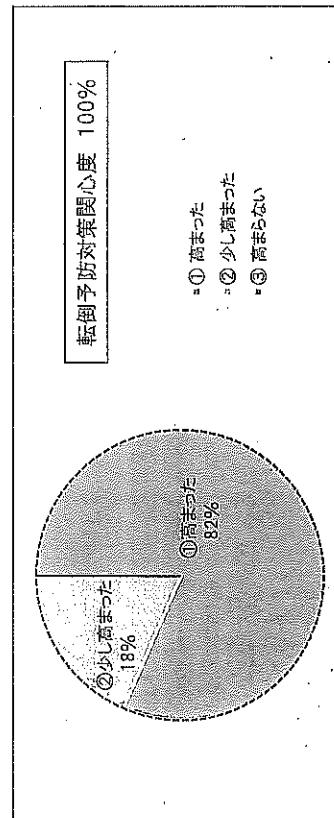
◇ 問1：この講座を知ったきっかけを教えてください。(回答者 65名)



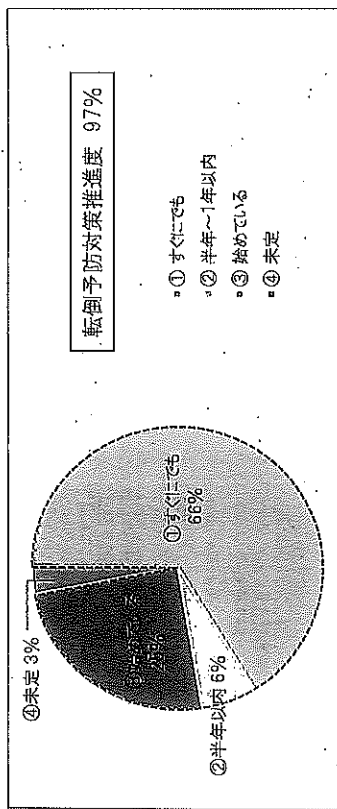
◇ 問2：室内の転倒予防について理解できましたか (回答者 65名)



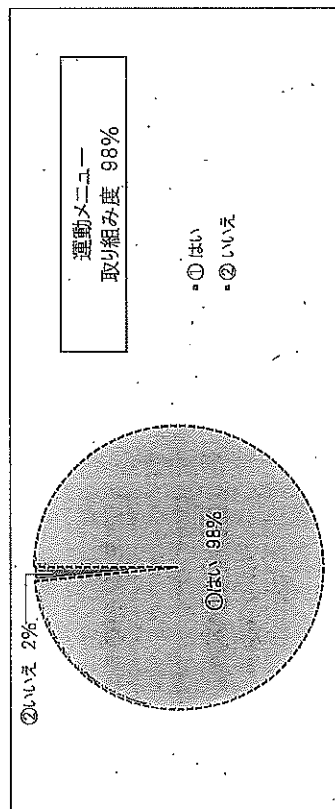
◇ 問3：転倒予防の対策について以前より関心が高まりましたか (回答者 65名)



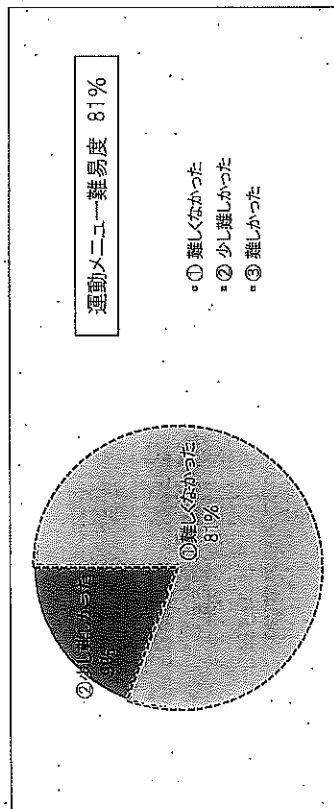
◇ 問 4：転倒予防対策（整理収納や室内整備）にいつから取り組みたいと思いますか
 (回答者 65 名)



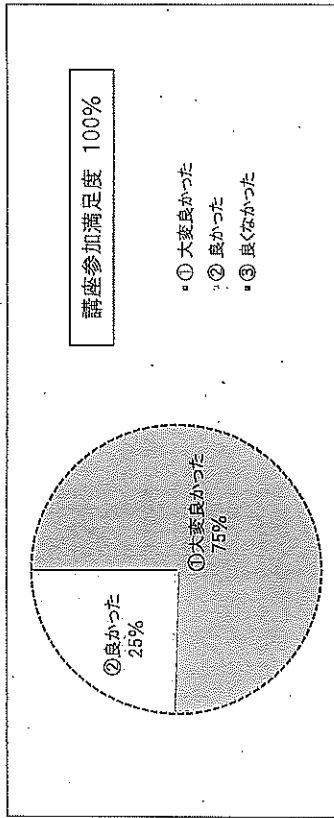
◇ 問 5：運動メニューはすぐに取り組みたいですか
 (回答者 63 名)



◇ 問 6：運動メニューは難しかったですか
 (回答者 63 名)



◇ 問 7：この『高齢期の知っとくいきいき講座』に参加していかげでしたか (回答者 65 名)



◇ 講座の感想

- ・今日は参加して本当に良かった。すぐにも始めたいです。(他 4 名)
- ・とても参考になりました。できることから始めてみます。(他 3 名)
- ・講師の方の説明が大変分かりやすく、映像(スライド)も分かりやすかったです。早口でなくゆっくりとした口調が特に良かったです。(他 7 名)
- ・気力、体力、判断力が重要ですね。運動も手堅にできそうです。頑張ります。
- ・運動メニューは家でできるのも参考になりました。ありがたうございました。
- ・早い頃から整理していると思いましたが、なかなか上手いきませんでした。家の人にもっと協力してもらいます。
- ・またこのような行事をおこなってほしいです。(他 2 名)
- ・とても良い講座でした。元氣なうちに取り組みたいと思いました。
- ・今日学んだことを意識して生活しようと思います。
- ・体験を家で毎日やりたいと思います。(他 2 名)
- ・今日は大変勉強になりました。これから習ったことを続けたいと思います。
- ・身近なできることが多かったです。家でも続けます。健康寿命が延びるかも。
- ・牧野先生のお話とてもわかりやすく聞くことができました。体験メニューは家で続けて転倒予防に役立てていきたい。
- ・具体的な事がよくわかかって良かった。どちらもすぐに取られられる内容で、わかりやすかったです。
- ・気力・体力・判断力の必要性をより感じた。チェック表、ためになりそうです。何方とも実践してこそということですね。少しずつでもすぐ始めます。
- ・2月に膝を痛めてリハビリをしていて最近体力の衰えを感じていましたが、とても良かったです。
- ・身体を大切にするには住みやすい環境を整えること、運動能力を維持すること等を、本日のことのできました。
- ・大変参考になりました。口コミを毎日エグザサイズしてみたい。健康で長生きを達成するために良い道程を示してくれた。ありがたうございました。
- ・改めて整理の大事なことがわかりました。
- ・膝が悪くて体操ができるか心配でしたが、無理なくできて良かったです。
- ・転倒して2年半になり、今もリハビリに通っています。今度転倒すると寝たきりになると言われ不安の日々でしたので、私にとっても有意義なご教授いただきありがとうございました。
- ・片づけが転倒予防のためという意識に気付かせていただきました。体験メニューもわかりやすく良かったです。
- ・年々身体が重くなっていると感じます。最近わずかな段差でもつまづきました。本日講座に参加させていただき参考になりました。
- ・転倒しないために片づけ・筋トレの体操、頑張って毎日やってみようと思います。(他 2 名)
- ・阿婆屋とも大変良かったです。尊敬あつなかつたことがよく分かった。(他 2 名)
- ・意識があるかないかで最適化にするための行動を実践したい。(一部抜粋)